

中九州横断道路(大分^{おおいた}～犬飼^{いぬかい})

第1回 説明資料

令和4年1月17日

国土交通省 九州地方整備局

本日も審議いただく内容

1. 評価対象区間・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
2. 計画段階評価手続きの進め方(案)・・・・・・・・5
3. 地域の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・7
4. 政策目標(案)の設定・・・・・・・・・・・・・・・・21
5. 意見聴取方法(案)・・・・・・・・・・・・・・・・24

1. 評価対象区間

1. 評価対象区間<対象区間の概要>

- 対象区間は、大分市と熊本市を結ぶ高規格道路中九州横断道路の一部。
- 中九州横断道路は東九州自動車道と九州縦貫自動車道と一体となることで、広域的な道路ネットワークを形成。
- 対象区間は起点側の東九州自動車道との接続区間であり、大分県内のうち唯一の未事業化区間。

【広域図】



【路線位置図】



1. 評価対象区間〈中九州横断道路について〉

○中九州横断道路は、大分市と熊本市を結ぶとともに**東九州自動車道に接続し広域的な道路ネットワークを形成する重要な路線**であり、自治体の各種計画でも**産業・観光・防災等における機能強化を図る重要な路線**であると位置付け。

○県の「九州の東の玄関口の拠点化戦略」では、港と高規格道路をつなぐ「ハブ＆スポーク※1」の重要性が謳われており、**熊本方面との広域移動を支える重要な幹線道路**と位置付け。

※1:ハブ＆スポーク:拠点施設(ハブ)と各地を放射状(スポーク)に結ぶネットワークを構築すること。

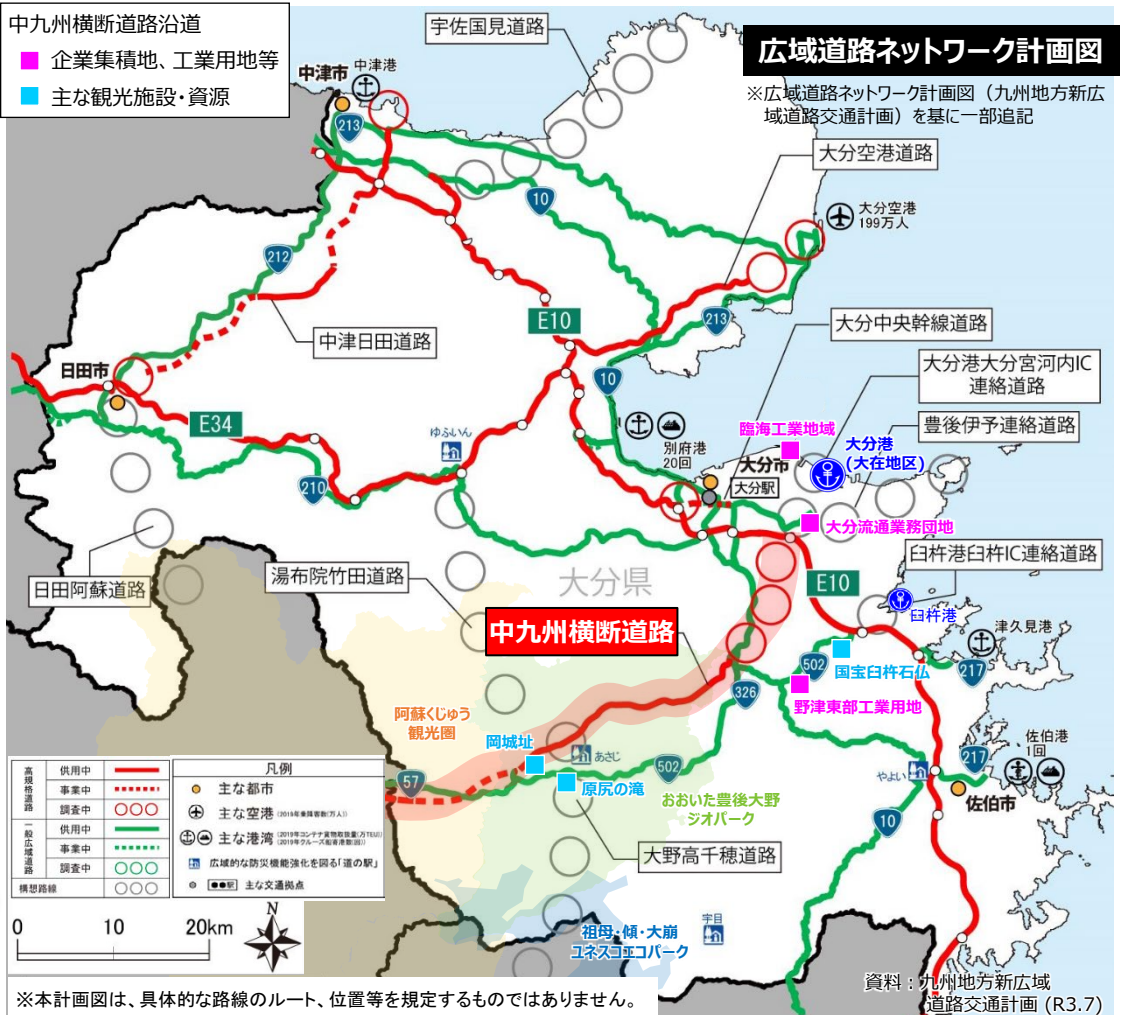
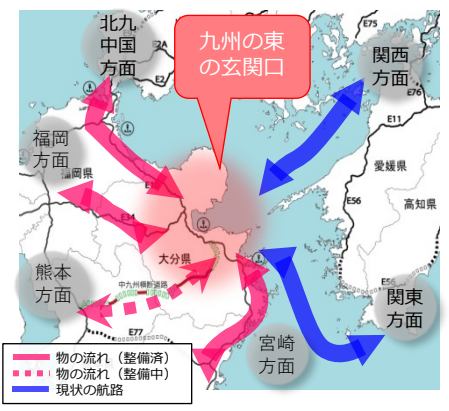
大分県長期道路整備計画 (R3.3改訂)

- 広域ネットワークは整備途上であり、「九州の東の玄関口」として、人や物の流れを活性化させ、観光や産業を発展させるために、**重点的な整備を行うことが必要**
- 中九州横断道路は大分と熊本の県都を結び、**産業や地域経済の活性化、産業振興など様々なストック効果が期待されており、残る大分～犬飼間の早期事業化に向けた取組を進める**



九州の東の玄関口としての拠点化戦略 (R2.3改訂)

- 九州の東の玄関口としての物流の基幹拠点にふさわしいインフラ整備として、**中九州横断道路の整備を促進**
- 中九州横断道路の延伸状況を踏まえ、**熊本県西部及び鹿児島方面への重点セールスエリアを拡大**
- 「ハブ＆スポーク」としての交通・物流ネットワークの充実・強化推進が重要



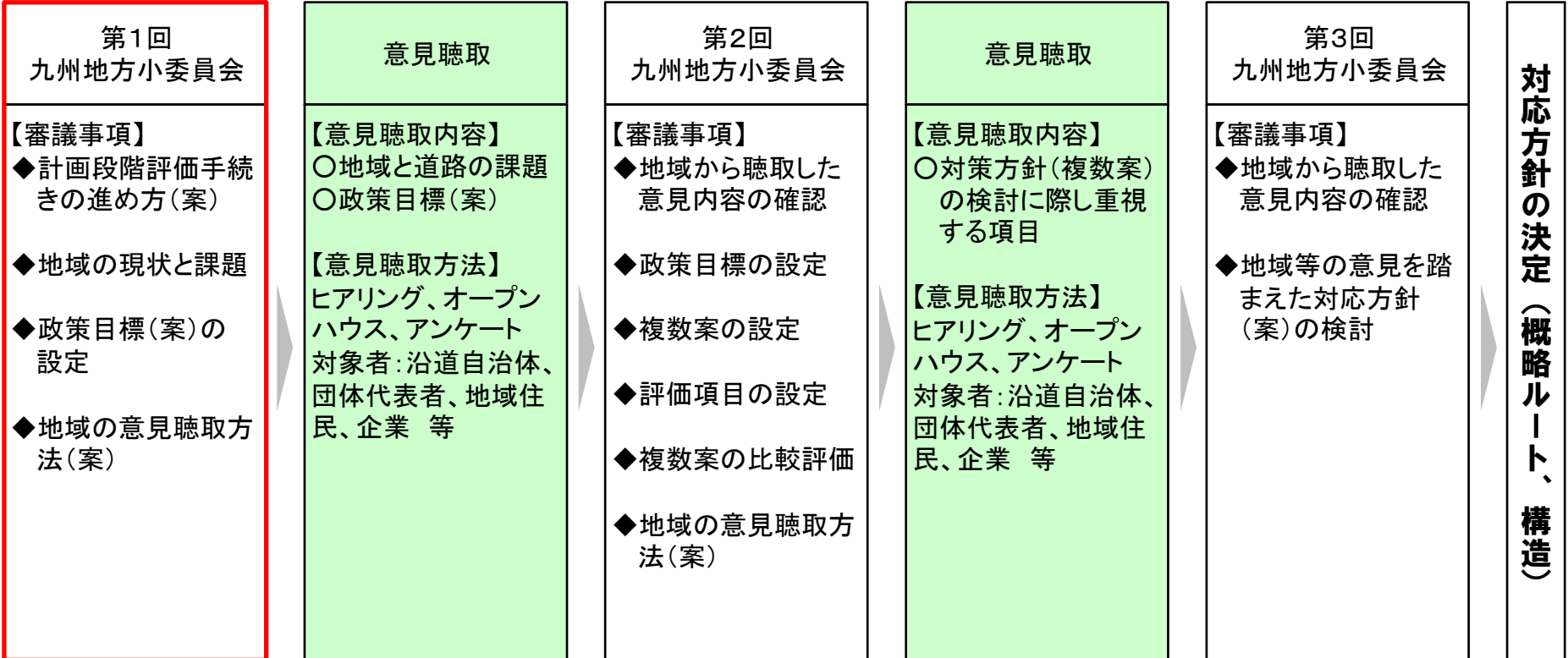
※本計画図は、具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。

資料：九州地方新広域道路交通計画 (R3.7)

2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

今回



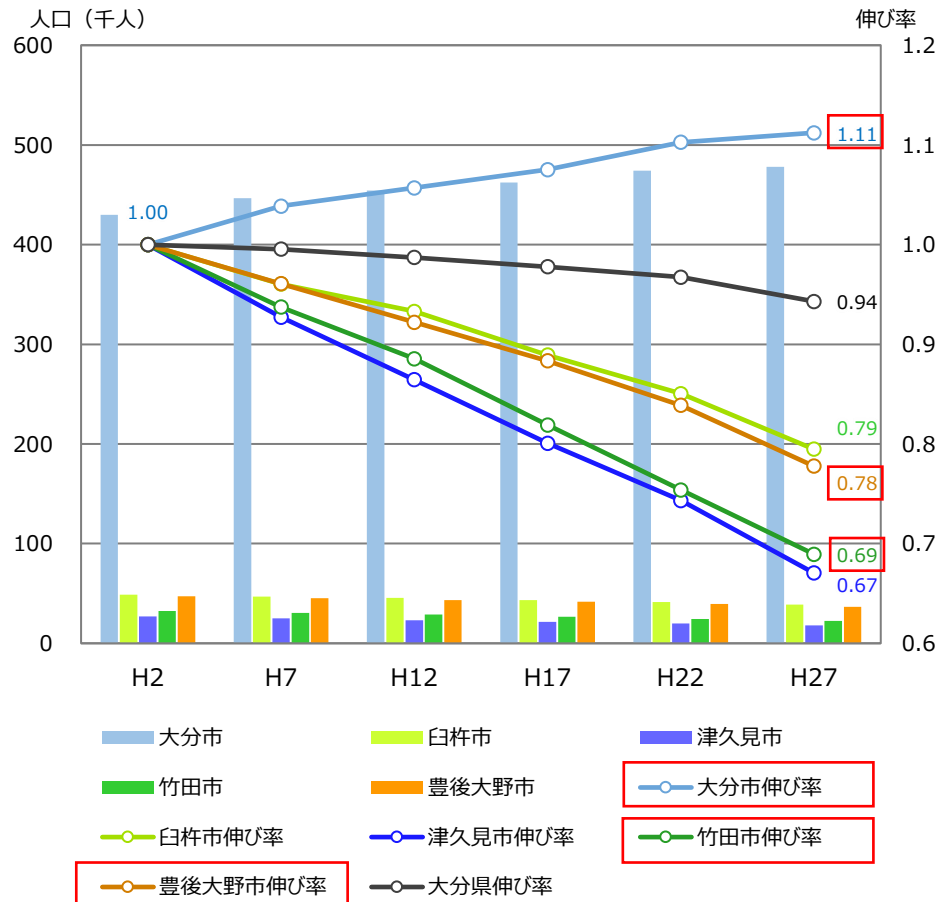
地 方 小 委 員 会

3. 地域の現状と課題

3-1. 地域の現状〈人口・高齢化率〉

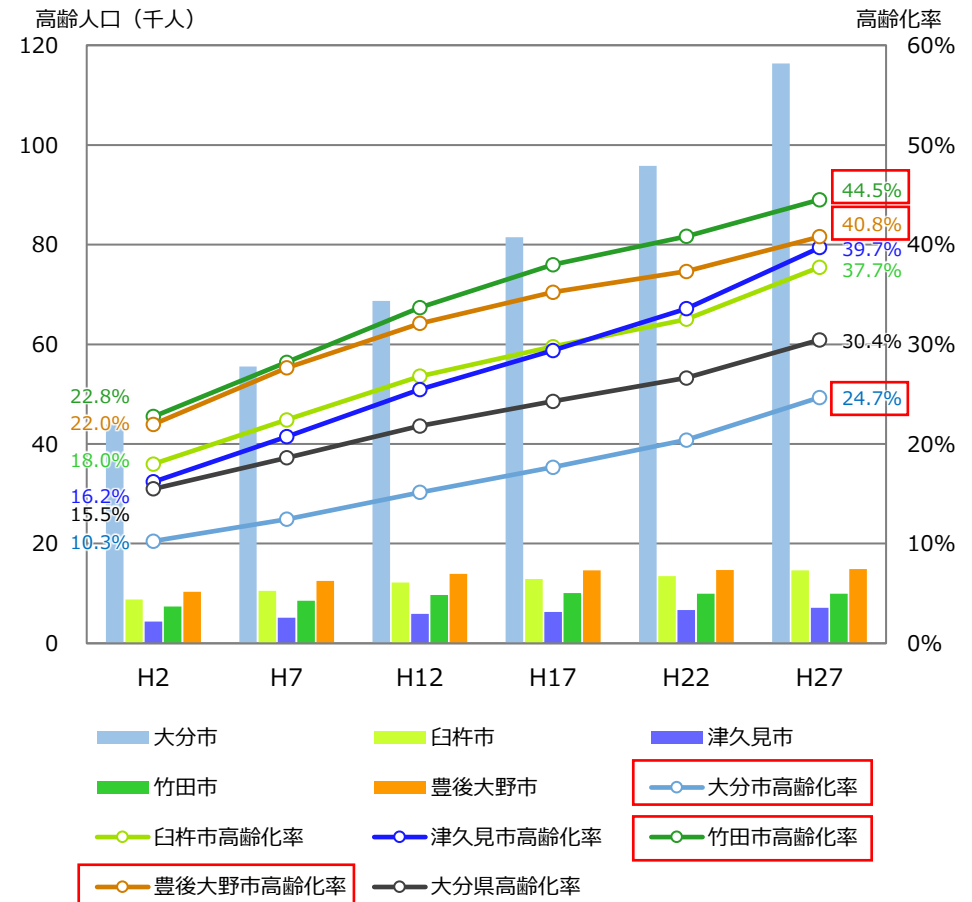
○大分市では人口が増加傾向であるが、豊後大野市、竹田市では大分県全体の伸び率を大幅に下回る水準で人口減少（25年間で約2～3割減少）が進んでおり、高齢化率も4割を超えている。

▼市町村別居住人口の推移



資料：国勢調査

▼市町村別高齢人口の推移

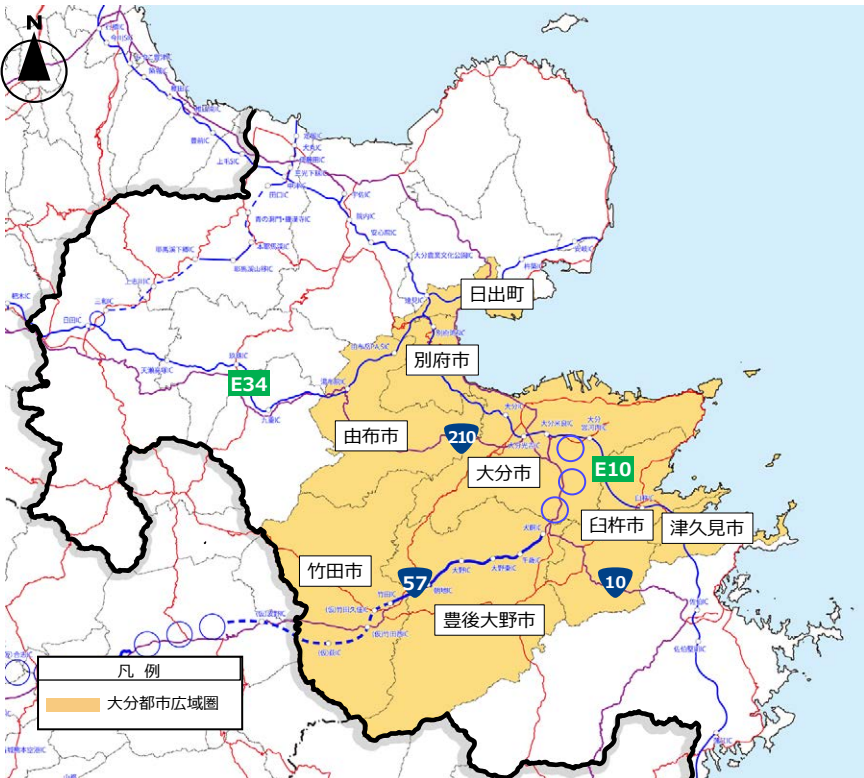


資料：国勢調査

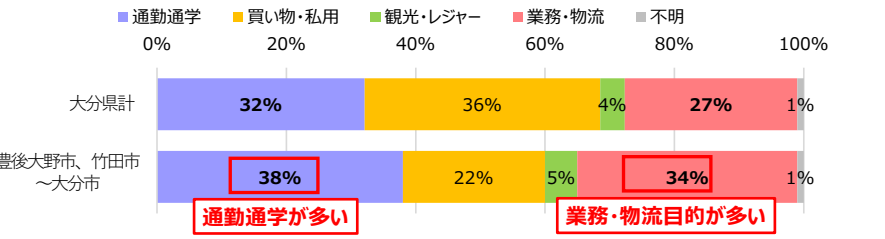
3-1. 地域の現状<地域のつながり・交通特性>

- 大分市、豊後大野市、竹田市等は一体的な発展を図る「大分都市広域圏」を形成。
- 豊後大野市、竹田市方面から大分市への移動目的は「通勤通学」「業務・物流」の割合が県平均と比べて多い。
- 国道10号の利用交通は「大分市ー豊後大野・竹田」が最も多く、全体の約4割を占める。

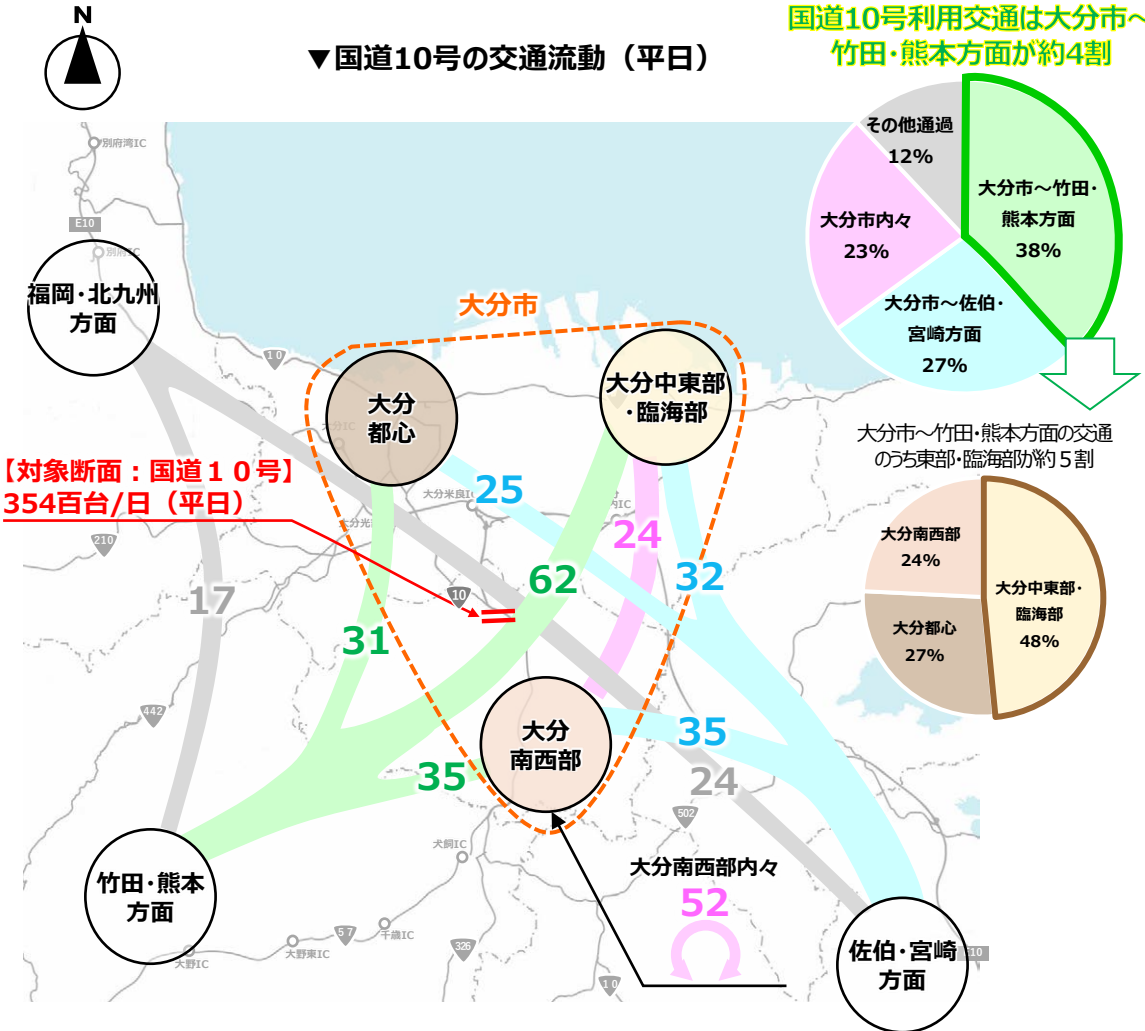
▼位置図



▼移動目的（平日）



▼国道10号の交通流動（平日）

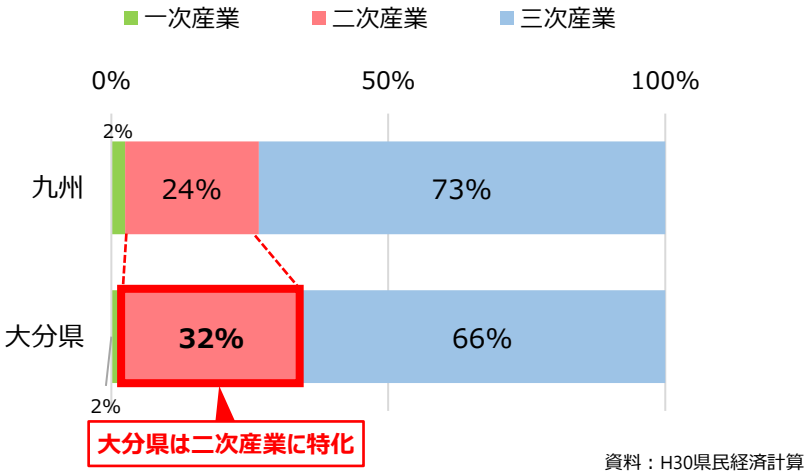


単位：百台/日
データ：H22平日OD（交通量推計）※15百台/日未満は非表示であるため合計は一致しない
資料：H22OD集計用マスターデータ

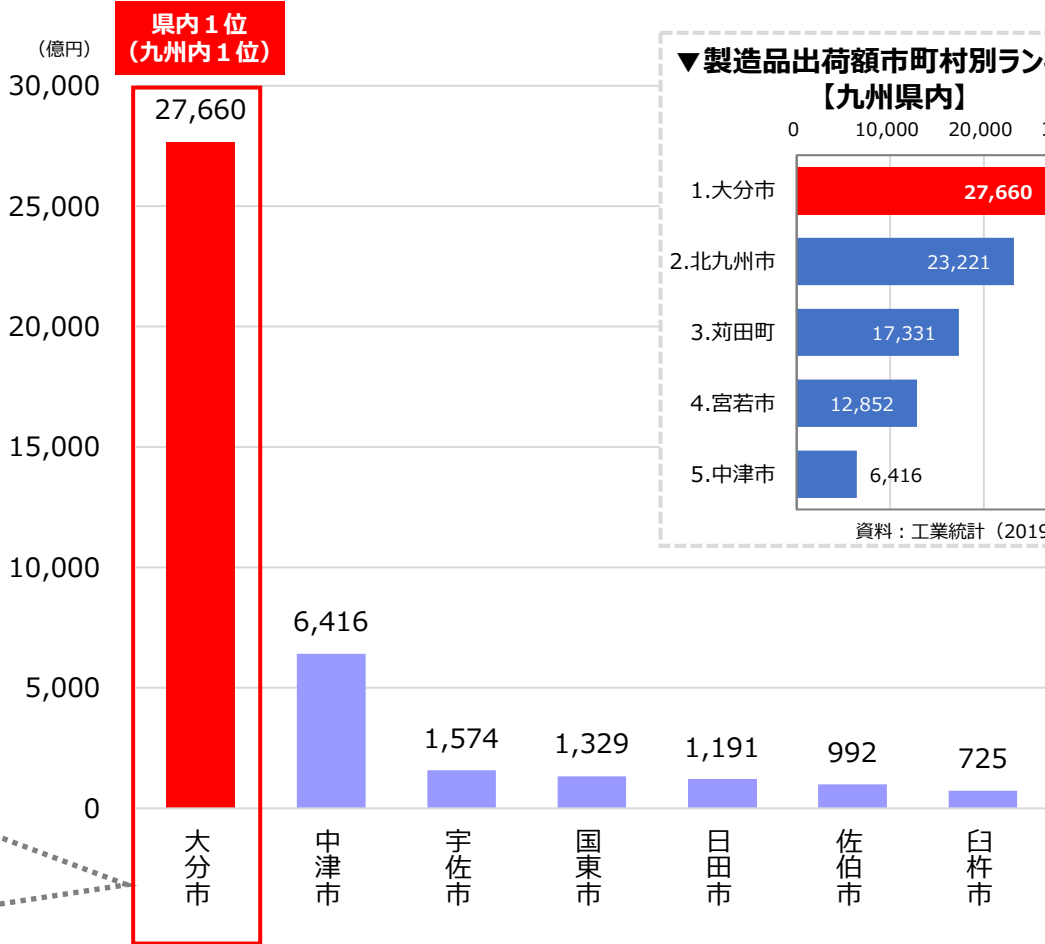
3-1. 地域の現状<地域産業①>

○大分県は製造業に特化した産業構造を有し、大分市は九州及び県内で最も製造品の出荷額が多い。
その中でも、鉄鋼、石油化学等の重化学工業が主流となっている(製品出荷額の約8割を占める)。

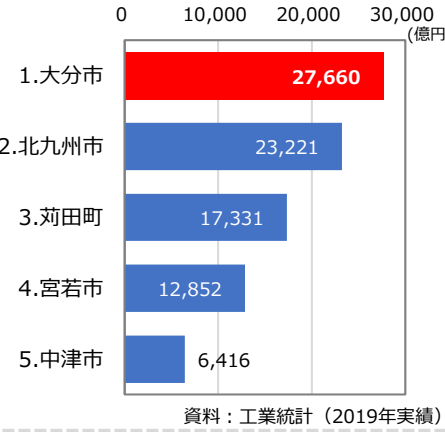
▼県内総生産の産業別内訳



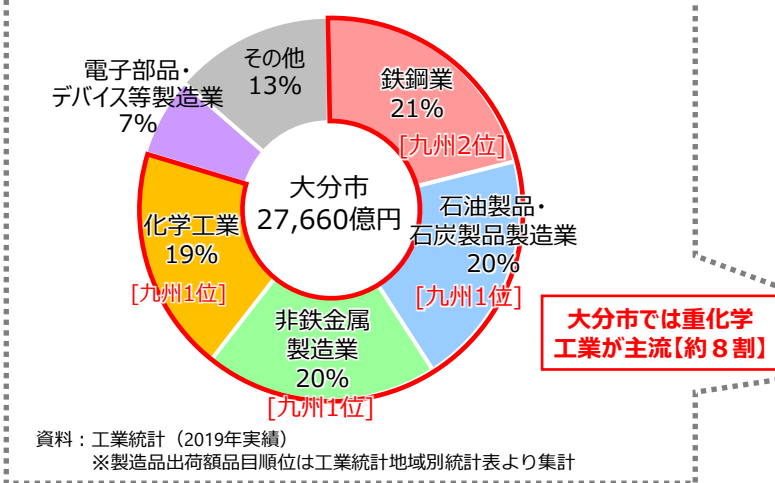
▼製造品出荷額 市町村別ランキング (H30)
【大分県内】



▼製造品出荷額市町村別ランキング
【九州県内】



▼製造品出荷額内訳【大分市】

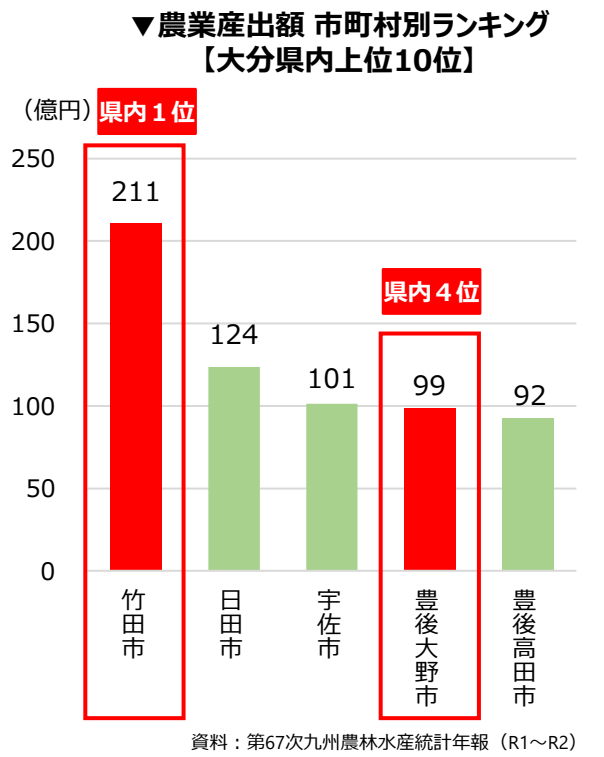
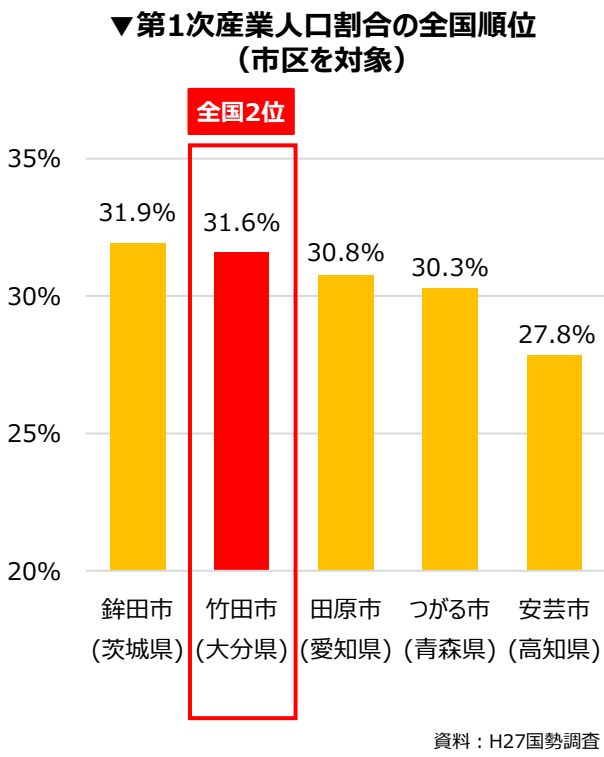
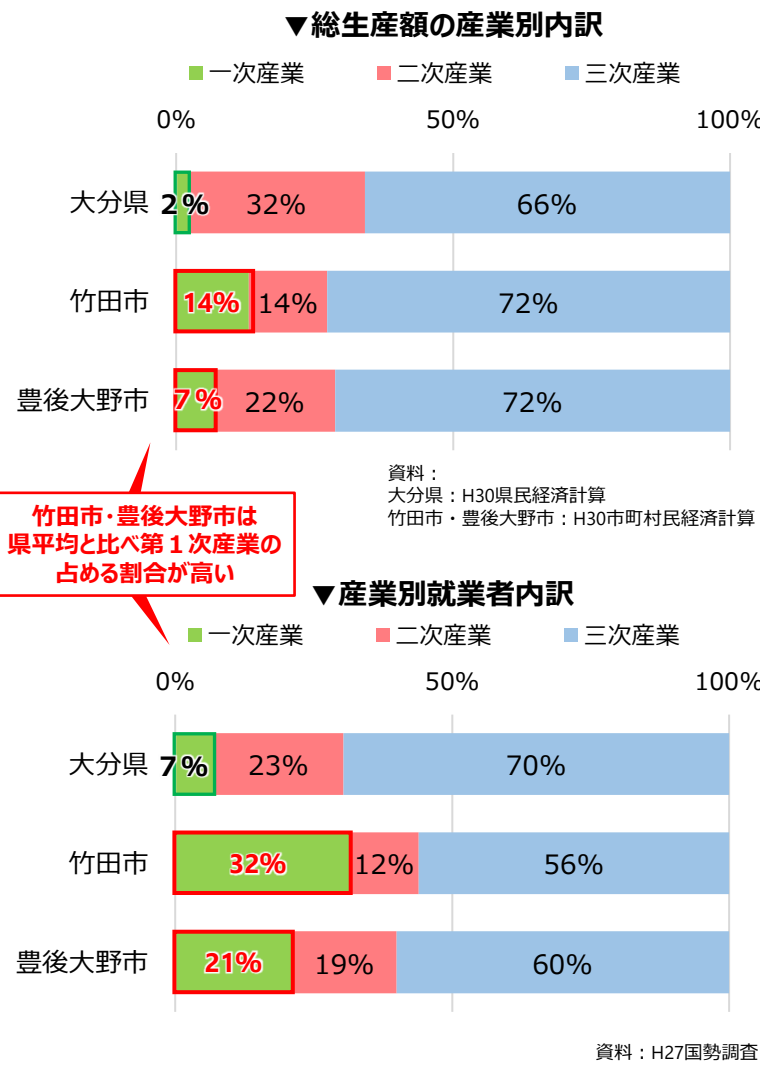


資料：工業統計 (2019年実績)

3-1. 地域の現状<地域産業②>

○竹田市・豊後大野市は第1次産業が基幹産業であり、総生産額および就業者数における第1次産業の割合は大分県の平均値を大きく超える。**(竹田市においては第1次産業の人口割合が全国第2位)**

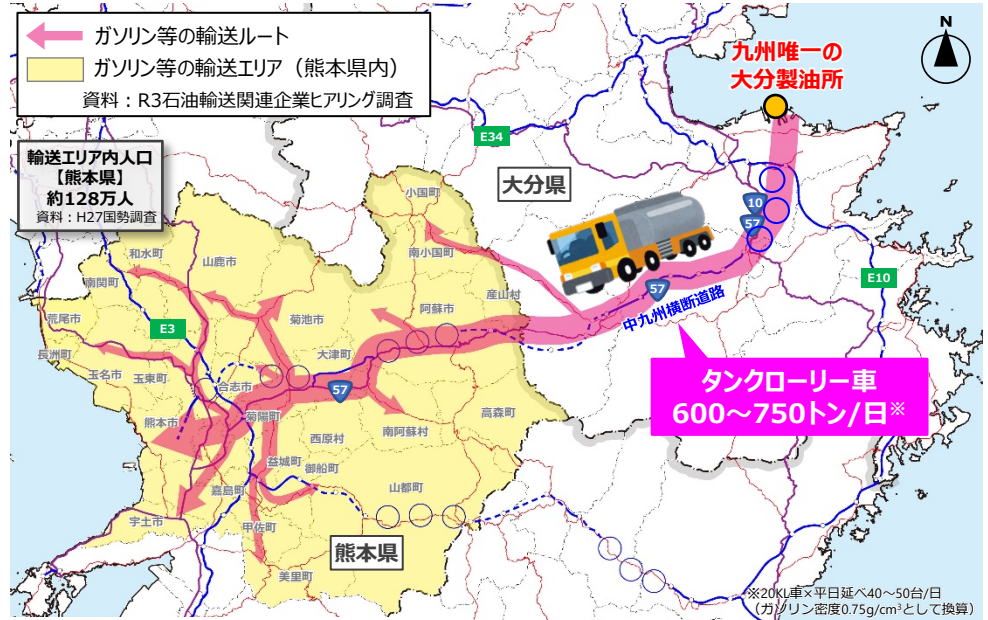
○県内の農業産出額は**竹田市が第1位**、**豊後大野市が第4位**であり、両市は県内でも重要な農業産出地域。



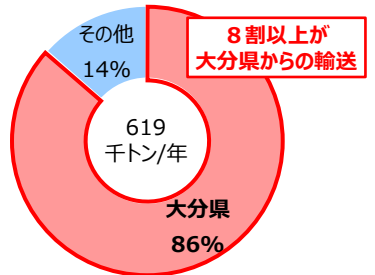
3-1. 地域の現状〈物流：工業製品〉

- 大分臨海部には九州唯一の製油所が立地。熊本県の石油製品（ガソリン等）の8割以上は大分県から供給。
- 熊本県には世界でも有数の半導体製造装置メーカーが立地しているほか、新たな半導体製造工場の建設も予定。
大分市内にも半導体関連企業が集積しており、県をまたいで部品や製品を輸送している。
- 輸送ルートの一つである大分自動車道は悪天候による通行止め時間が全国ワースト1位。

▼大分県から熊本県への陸送によるガソリン等の輸送



▼熊本県における石油製品の発地割合



資料：H29貨物地域流動調査（自動車輸送）
※熊本県内々輸送除く

ENEOS株式会社 大分製油所

- ・九州唯一の製油所（原油は中東等からタンカーで輸送）
- ・石油製品（ガソリン、灯油等）の製造・供給、石油化学製品の原料生産等を行う



▼大分県～熊本・福岡方面の半導体部品等の輸送



熊本県の半導体関連産業に関する動向

- ・合志市等は日本有数の半導体企業の立地地域（合志市：生産用機械器具製造業の出荷額が九州第1位）
- ・現在、世界4位の半導体製造装置メーカーが合志市に立地
- ・さらに世界最大手企業が半導体製造工場の建設を発表（2022年着工、2024年末までの生産開始を予定）

資料：工業統計（2019年実績）

半導体関連企業の声

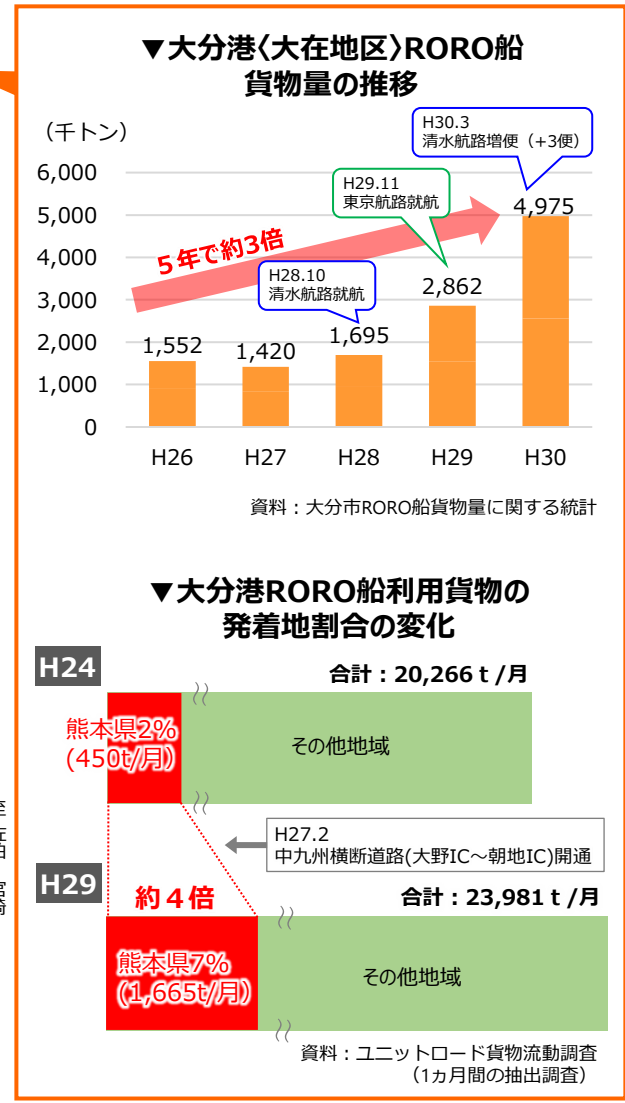
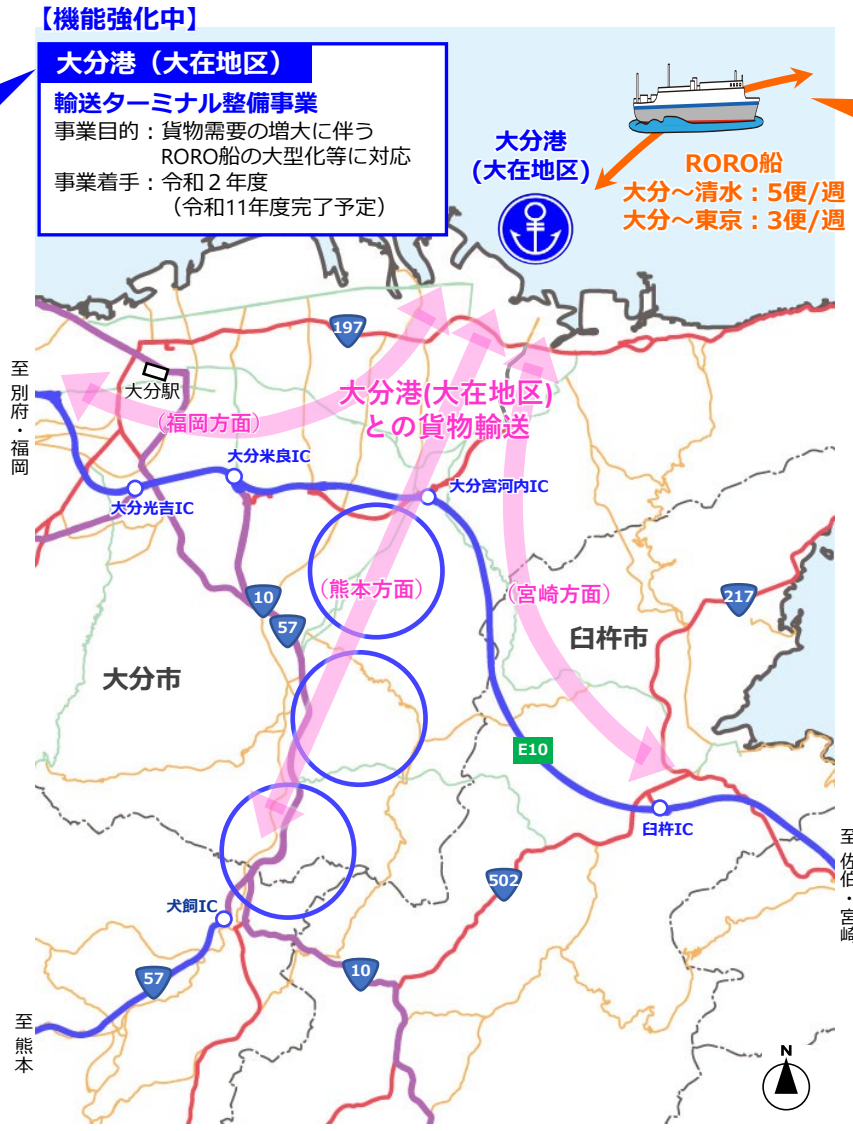
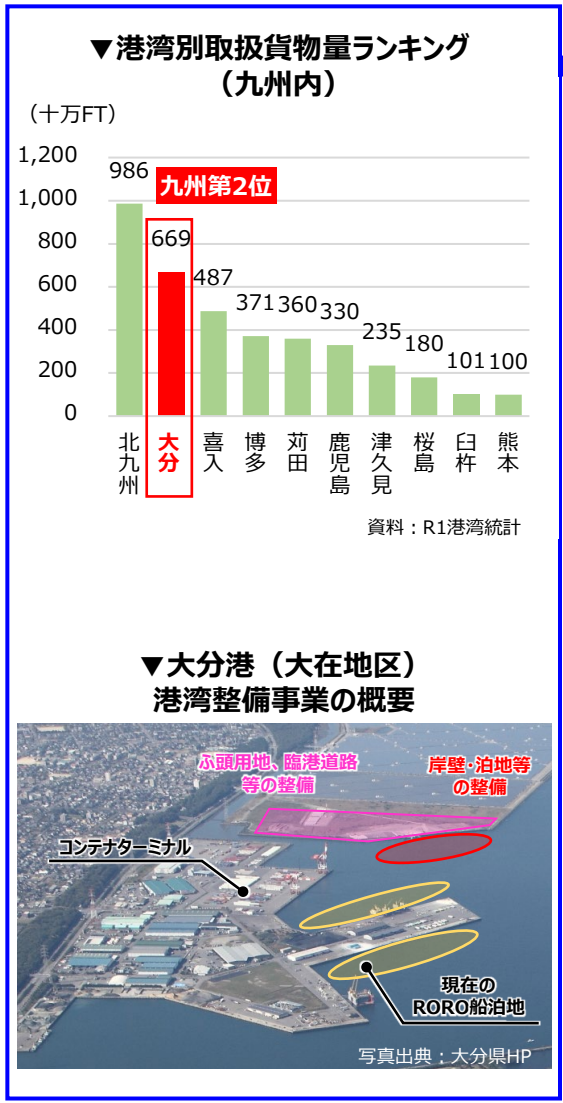
- ・大分～熊本間の輸送のうち、精密部品は規格の高い道路がないため大分自動車道へ迂回。
- ・大分～熊本間に信頼性、速達性の高い道路を望む。

（R3.10ヒアリング調査）



3-1. 地域の現状<物流：港湾利用>

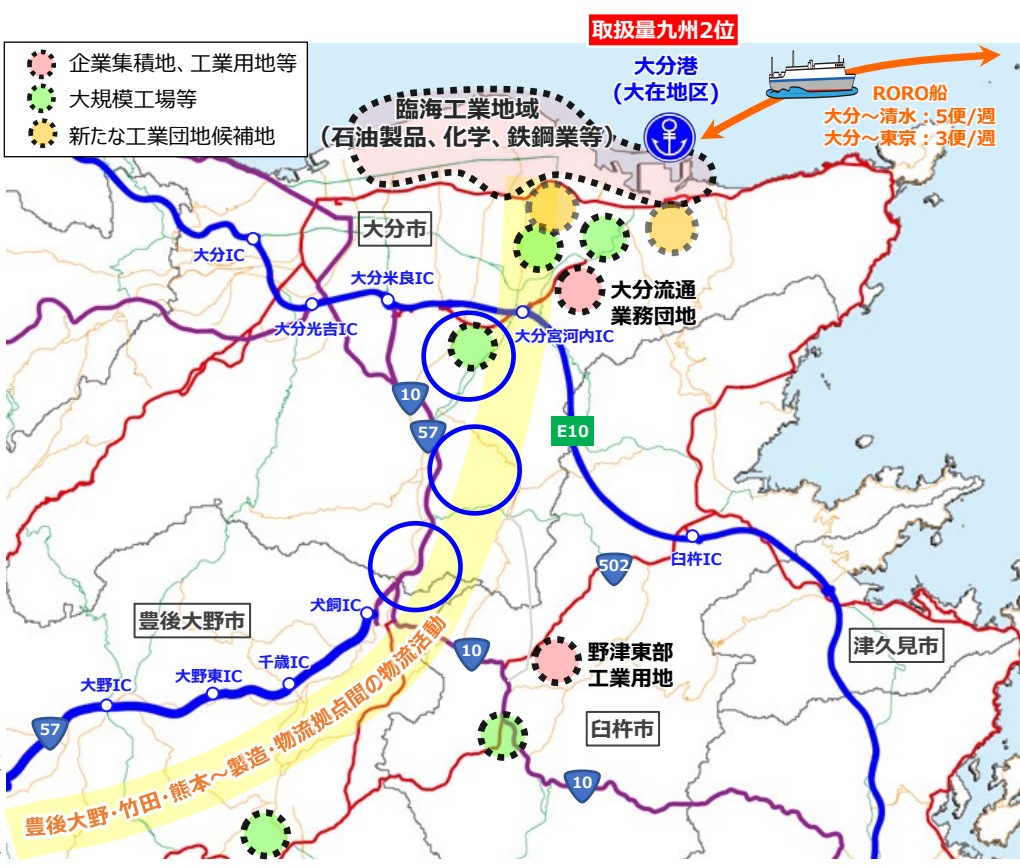
○大分港(大在地区)は九州でも取扱貨物量が上位を占める港湾であり、現在は輸送機能向上のための整備を推進中。
○特に近年ではRORO船の貨物量は5年間で約3倍増加、熊本との取扱貨物量は約4倍増加となっている。



3-2. 地域の現状と課題〈産業・物流：製造業〉

○大分港(大在地区)や沿道自治体には**製造・物流の拠点**が立地し、**新たな工業団地の造成**に向けた検討が進んでいる。

○国道10号・57号が製造・物流拠点や港湾施設から熊本方面への物流を担うが、**主要渋滞箇所**を通過せざる得ない状況であり、**速達性・定時性、アクセス性の向上が課題**。



臨海工業地域関連企業の声

- ・豊後大野・竹田・熊本方面への輸送で国道57号を主に利用。
- ・渋滞区間を回避でき、定時性が向上すれば、より効率的な配車計画が可能となる。(R3.8ヒアリング調査)

大分～竹田・熊本方面物流企業の声

- ・国道10号大分～犬飼は朝夕混雑しており、輸送遅延が発生することがある。(R3.10ヒアリング調査)

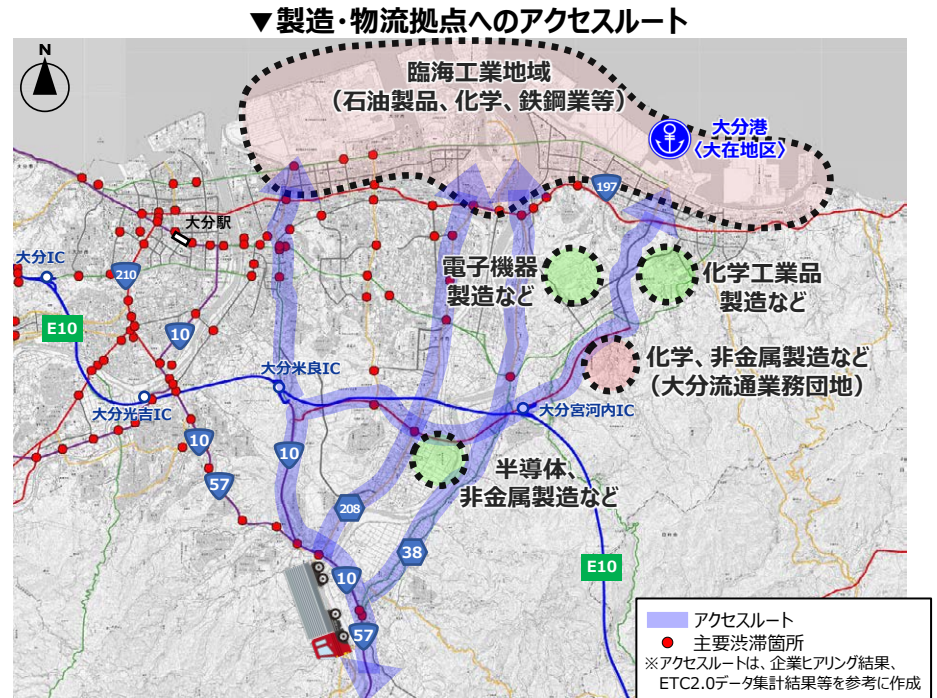
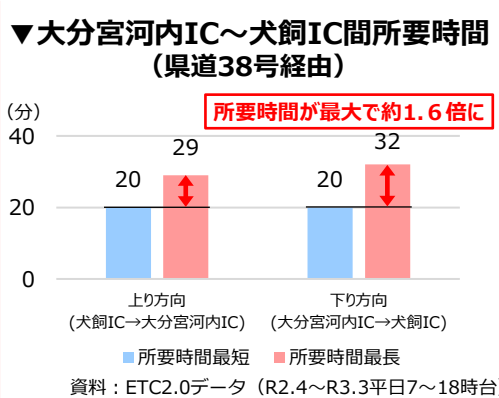
野津東部工業用地(白杵市)

◆分譲面積 約19ha

大分県企業立地ガイド

野津東部工業用地担当部局の声

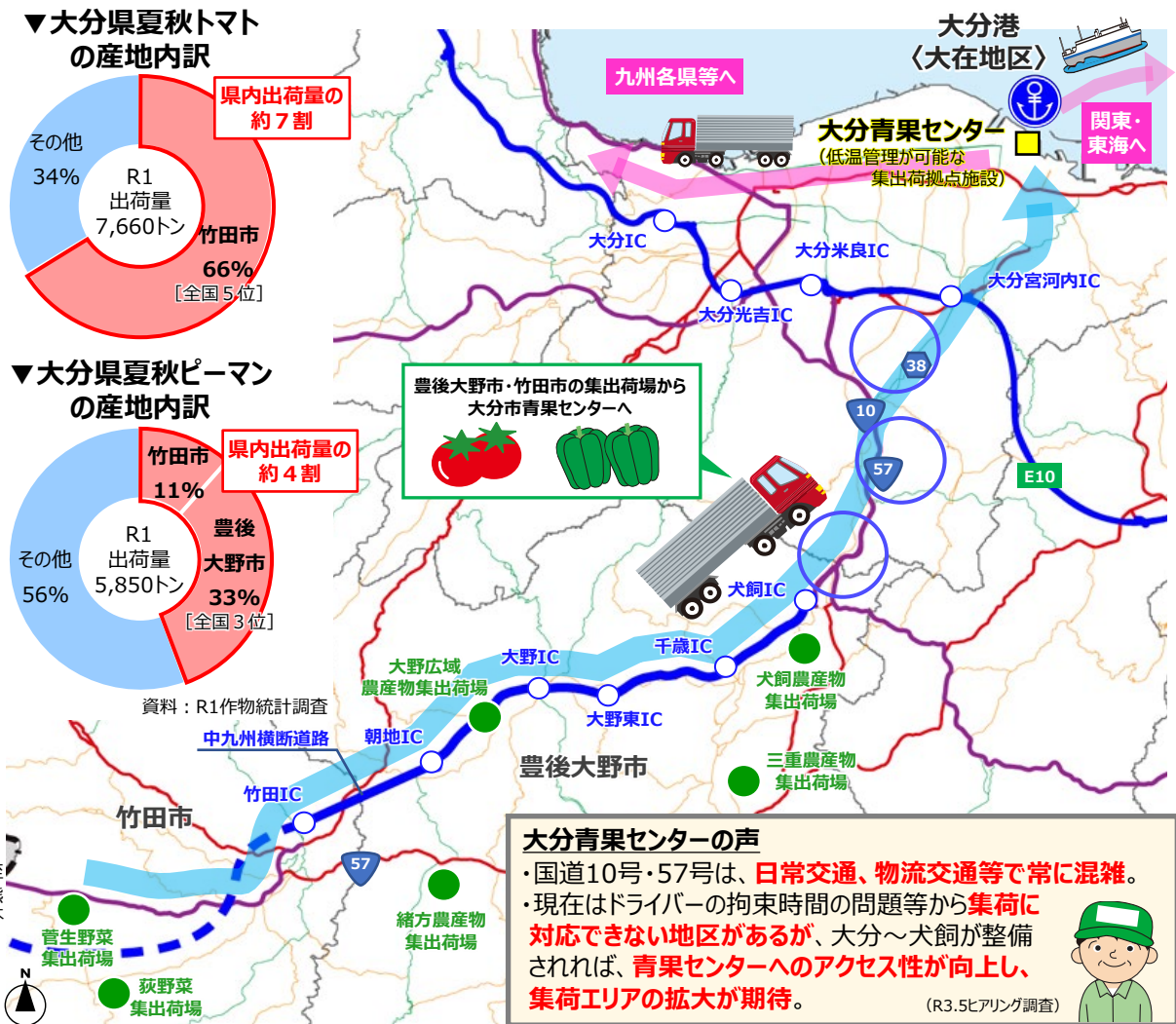
- ・関東へ大在港からの海上輸送が想定。中九州横断道路により企業誘致の促進が期待。(R2ヒアリング調査)



3-2. 地域の現状と課題〈産業・物流：農産物〉

○農林水産省等では、農産物の共同輸送や航路を活用したモーダルミックスを推進しており、大分青果センターは九州内の3つの集約物流拠点の中の1つに位置付け。今後さらに県内外からの農産物の集積が増加の見込み。

○国道10号・57号は、県の戦略品目であるピーマン、トマトの主要産地である豊後大野市・竹田市や熊本方面からセンター、大在地区への輸送を担っており、今後の需要増加も見据え、速達性・定時性、アクセス性の向上が課題。



【農林水産省推進施策】県域を越えた食品流通の合理化に向けた取組 大規模モーダルミックスの推進

- 小ロット、多頻度の輸送が多く、手荷役作業の負担が大きい
- トラックドライバー等の長時間労働問題や人手不足が深刻化

○関東方面への物流結節点である北部九州に、集約物流拠点「ストックポイント」を設置し、青果物を集積

○集積した青果物の共同輸送、RORO船航路等を活用した大規模モーダルシフトを推進

資料：食品流通合理化検討会資料（農林水産省）等

JA全農おいたの声

- ・大分青果センターは九州3箇所のストックポイントの一つに位置付け。
- ・センターの施設拡張も予定しており、今後さらに熊本方面からの輸送が増加すると見込んでいる。

(R3.10ヒアリング調査)

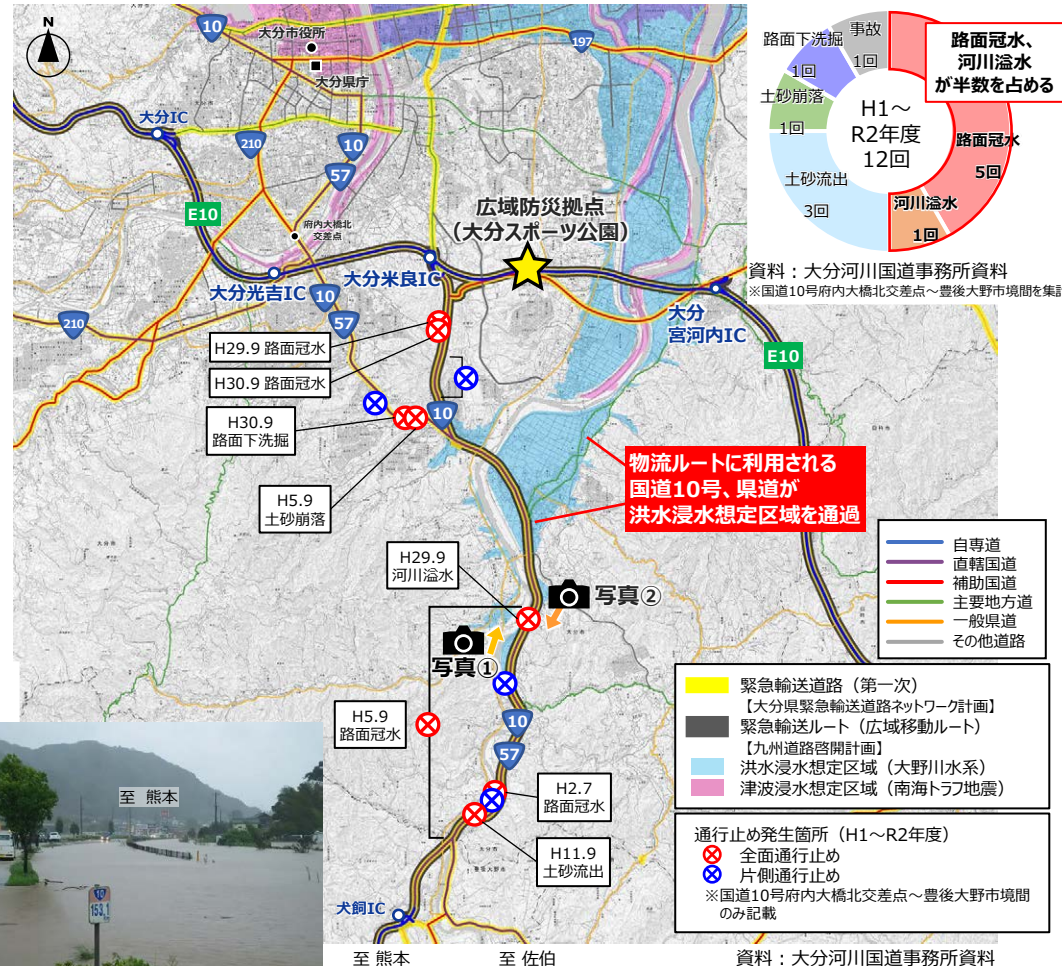
3-2. 地域の現状と課題〈防災〉

- 国道57号(中九州横断道路)は、南海トラフ地震時における熊本方面からの広域移動ルートに位置付け。
- 一方で、国道10号・57号は、大野川水系の洪水浸水想定区域内に位置し、路面冠水等による通行止めが発生。
- 安定的な物流活動の維持や災害時の救援・救助の支援のため、信頼性の高い道路ネットワークの構築が課題。

▼南海トラフ地震発生時における道路啓開計画「九州東進作戦」



▼浸水区域分布および通行止め発生状況



▼H29.9台風18号による冠水被害



大分県の声

・甚大な被害が想定される
南海トラフ地震等への備え
として、信頼性の高いネット
ワークの確保が必要

写真① 至 大分市街

写真② 至 熊本

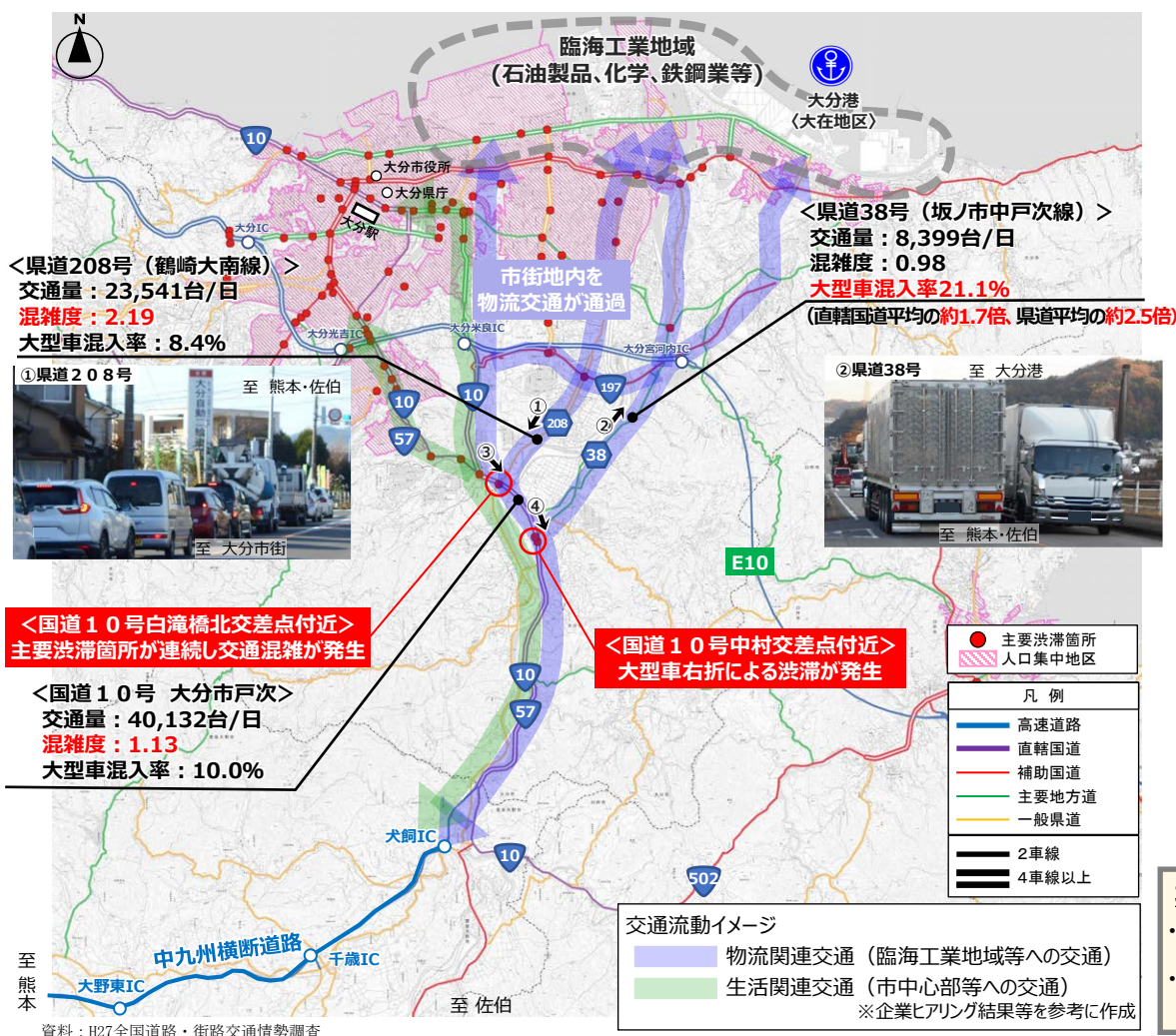
至 熊本

至 大分市街

資料：大分河川国道事務所資料

3-2. 地域の現状と課題〈暮らし：交通流動・渋滞〉

- 大分市中心部・臨海部～豊肥方面を結ぶ幹線道路は国道10号・57号のみであり、当該区間では臨海工業地域へ向かう物流交通と市中心部へ向かう生活交通が混在。
- 国道10号中村交差点等では臨海工業地域等への物流交通に起因する渋滞が発生。
- 県道208号は慢性的な交通混雑が発生し、県道38号は大型車混入率が高い。



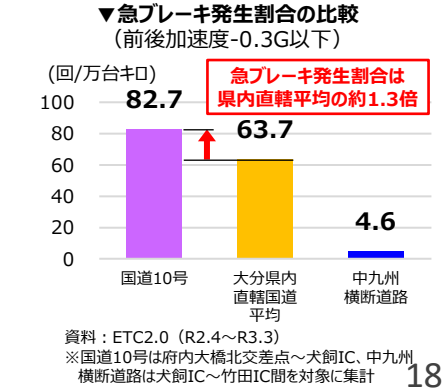
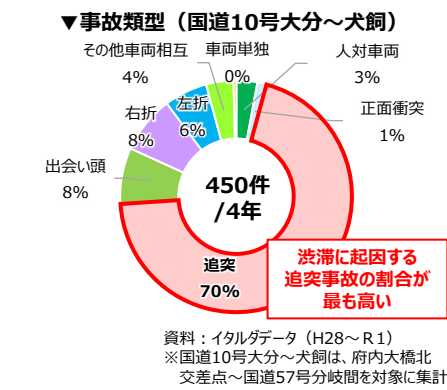
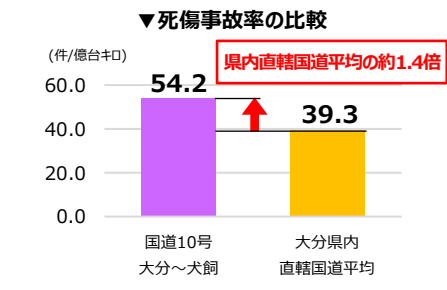
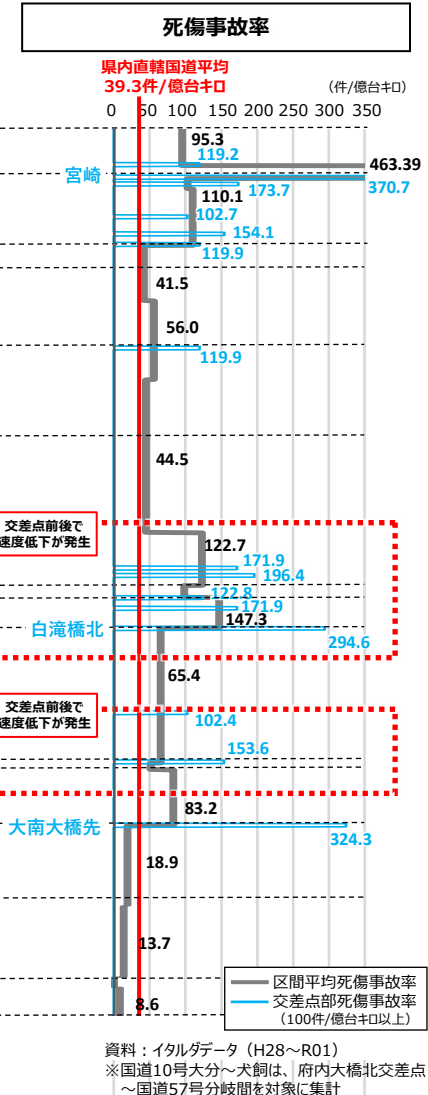
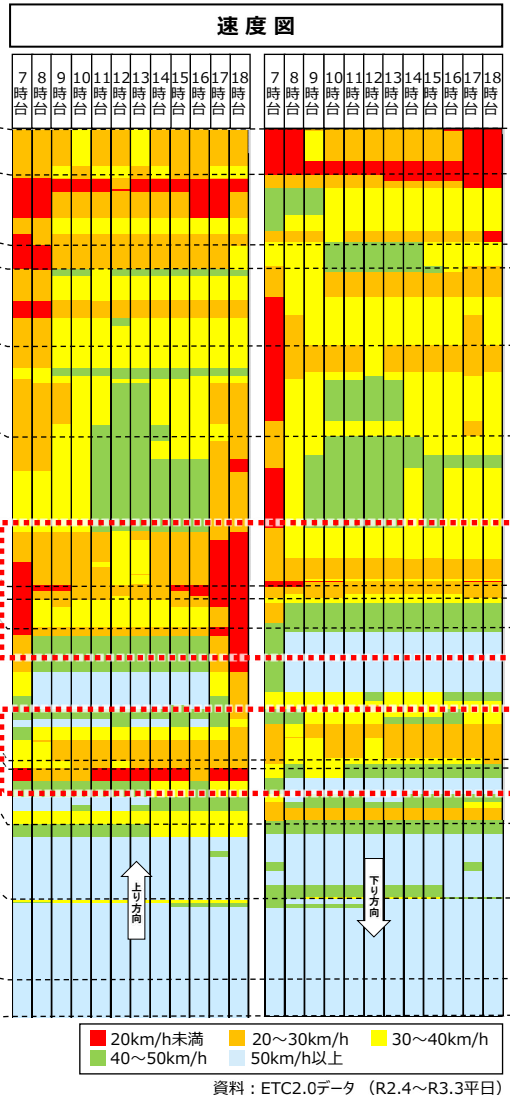
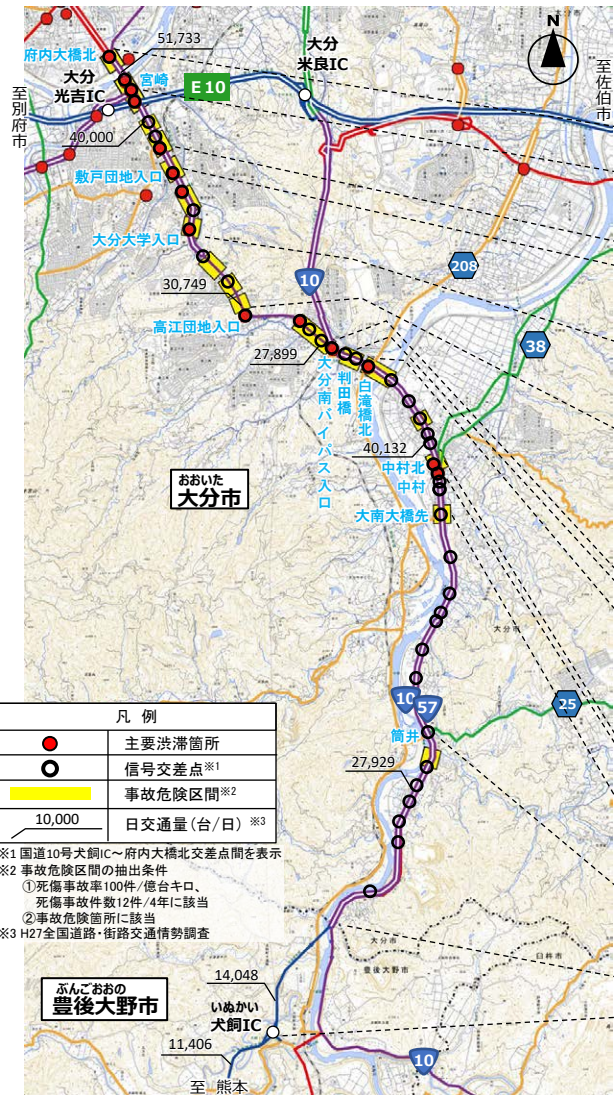
地元道路利用者からの声

- ・大型車が多く、トラックとの接触による死亡事故も発生しており危険。(R2.8)
- ・トラック事業者から物流効率化のため渋滞対策について声があがっている。



3-2. 地域の現状と課題〈暮らし: 渋滞・事故〉

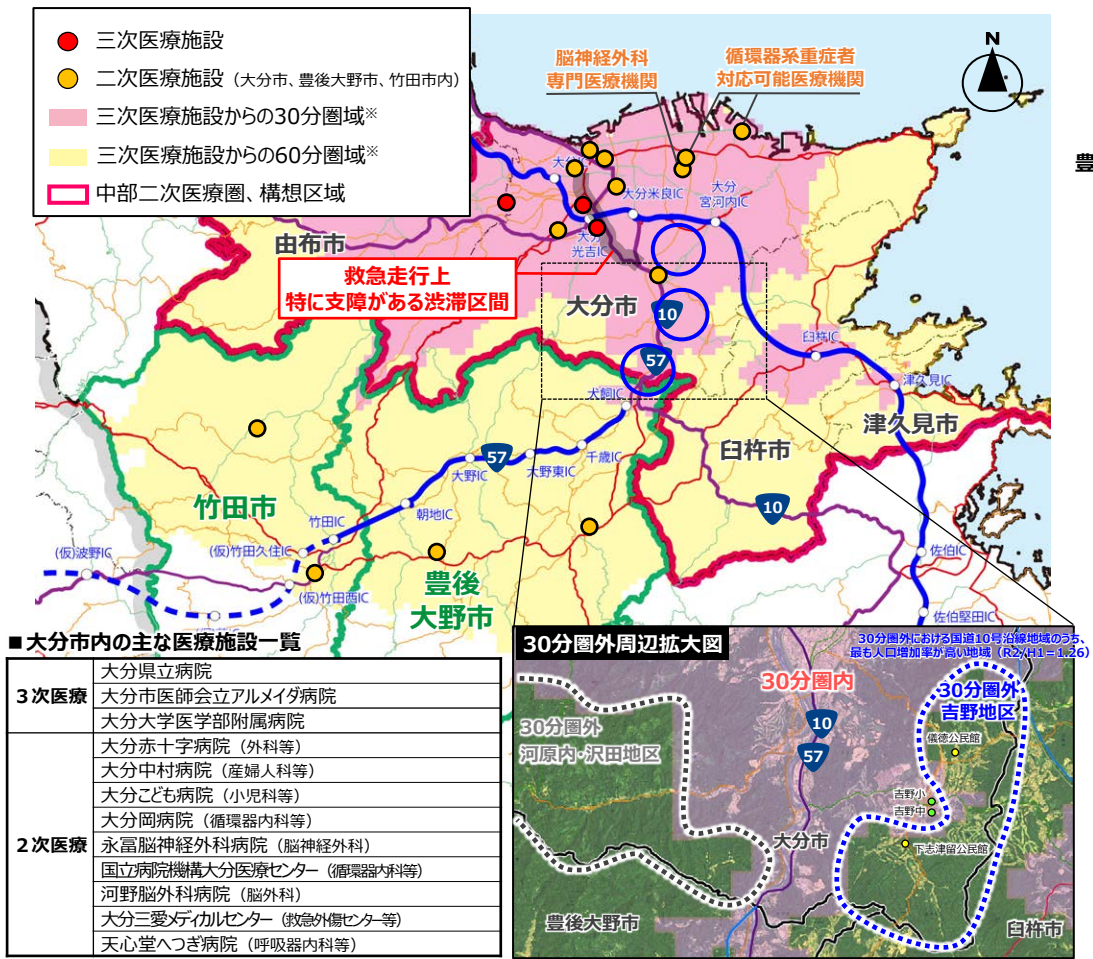
○国道10号大分～犬飼間は**交差点前後で20km/hを下回る速度低下が発生し、速達性・定時性の向上が課題。**
○国道10号大分～犬飼間の死傷事故率は**県内直轄国道平均の1.4倍と高く、渋滞に起因すると想定される追突事故が7割発生していることから、安全性や走行性の向上が課題。**



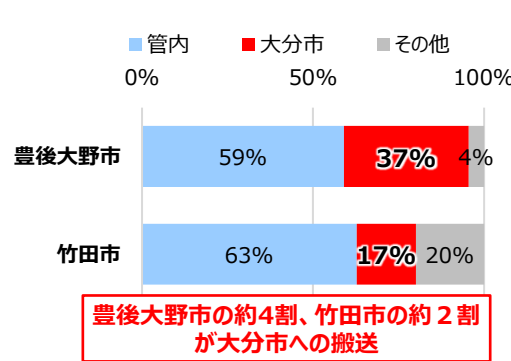
3-2. 地域の現状と課題〈暮らし：医療〉

- 竹田市、豊後大野市では、医療機能を大分市に依存しており、管内の医療施設で対応困難な場合や、専門的な治療が必要な場合等は大分市内の医療施設への搬送が必要。
- 大分市内の国道10号・57号の沿道の一部で三次医療施設の30分圏域外があり、地域からは不安の声がある。
- 渋滞区間の回避等による医療施設への速達性・走行性の向上が課題。

▼医療施設立地状況および三次医療施設30分・60分圏分布

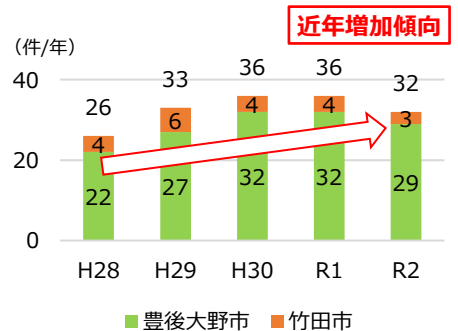


▼救急搬送先の内訳



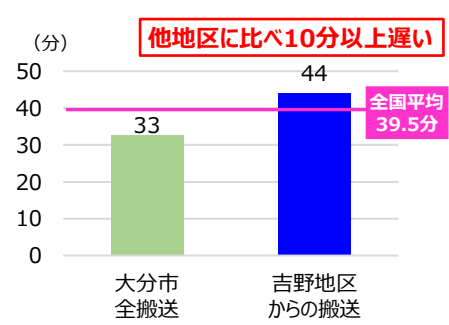
資料：豊後大野市消防本部調査、竹田市消防本部調査

▼大分市東部の専門医療機関への搬送件数の推移



資料：豊後大野市消防本部調査、竹田市消防本部調査
※左図の「脳神経外科専門医療機関」「循環器系重症者対応可能医療機関」を対象

▼救急搬送時の病院収容までの平均時間※



資料：大分市消防局調査（R2値）、R2版救急・救助の現況（R1値）
※入電～医療機関収容までの時間

豊後大野市・竹田市消防本部の声

・管内の病院で対応できない場合や、専門的な治療が必要な場合は大分市内へ搬送。
・国道10号は渋滞により走行に苦慮。
(R3.9ヒアリング調査)

大分市消防局の声

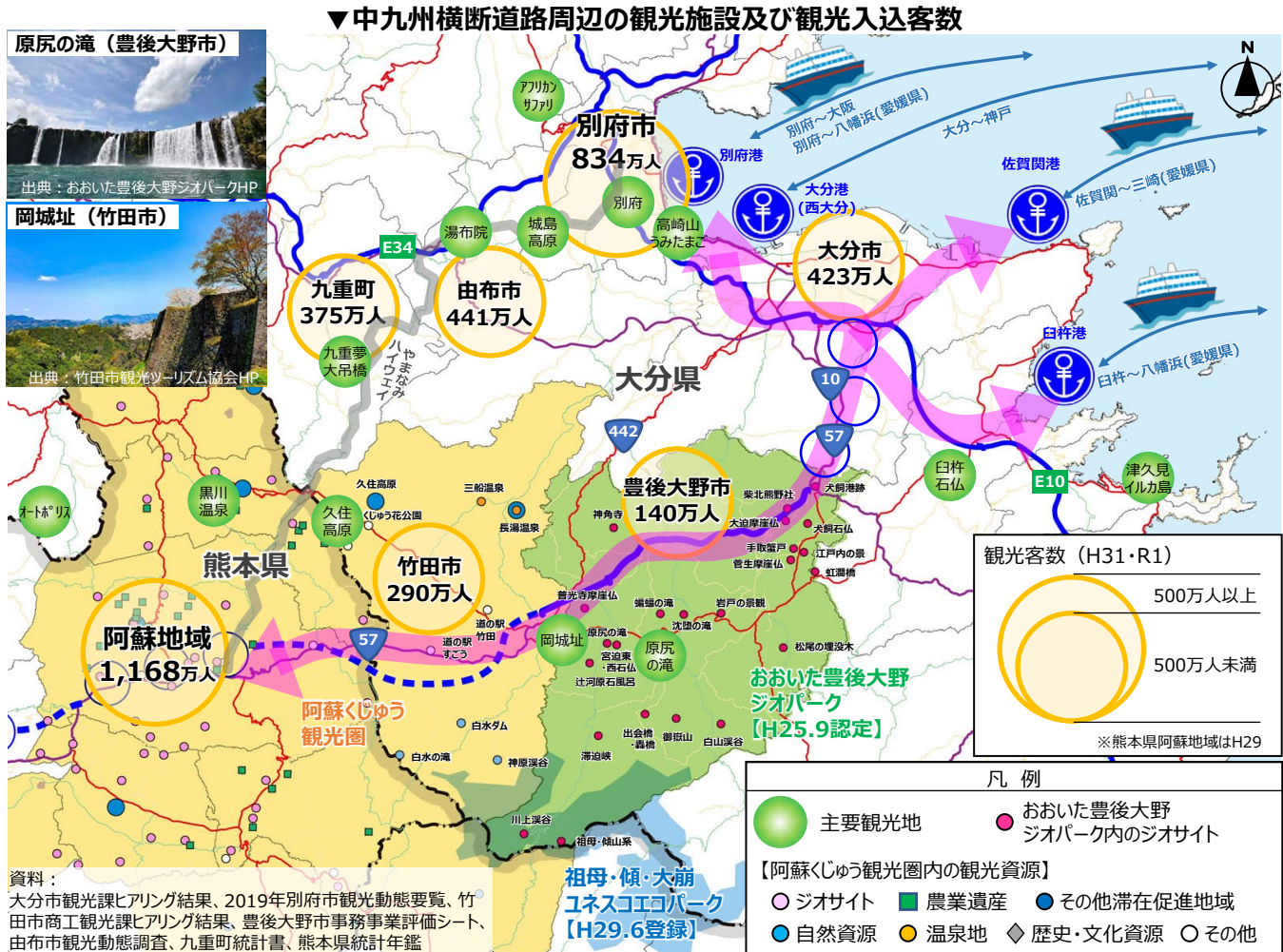
・三次医療施設30分圏から外れている地域からは不安の声を聞く。
(R3.9ヒアリング調査)



※30分・60分圏域は、大分市、由布市、臼杵市、津久見市、豊後大野市、竹田市を対象
※H27全国道路・街路交通情勢調査（混雑時旅行速度）を使用

3-2. 地域の現状と課題〈観光〉

- 豊後大野市、竹田市の一部は平成29年度にユネスコエコパークに登録される等、**県内には多様な観光拠点、観光資源が立地**しており、これらを活かした観光誘客を推進。
- 竹田市、豊後大野市は**来訪率や他市からの立寄り率が県内でも低く、滞在時間も下位**に位置。
- 別府市・大分市からの回遊を促すための高規格道路ネットワークの未整備が観光阻害要因の一つであり、**広域的な観光を促す道路ネットワークの構築が課題**。

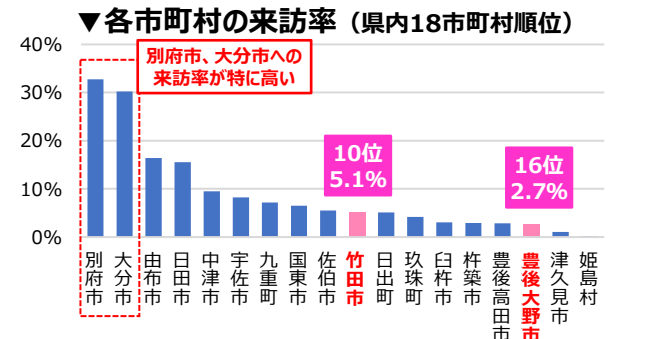


大分県観光政策課の声

- ・ポストコロナの新たなニーズを踏まえ、**ジオパーク等の自然を活用した観光施策を展開**予定。
- ・移動時の定時性が向上すれば、**滞在時間の増加、観光消費の拡大**が期待される。
(R3.9ヒアリング調査)

竹田市商工観光課の声

- ・大分～豊後大野・竹田間のみ高規格道路ネットワークが整備されておらず、**観光誘客・観光振興の阻害要因**となっている。
(R3.9ヒアリング調査)



▼別府市からの立寄り率

1位	大分市	32.0%
2位	由布市	20.0%
3位	宇佐市	10.2%
...	...	...
12位	竹田市	2.4%
...	...	...
15位	豊後大野市	1.9%
...	...	...

▼平均滞在時間（日帰り旅程）

1位	日出町	2 : 35
2位	大分市	2 : 29
3位	佐伯市	2 : 12
...	...	...
12位	竹田市	1 : 46
...	...	...
14位	豊後大野市	1 : 44
...	...	...

4. 政策目標(案)の設定

4-1 . 地域の将来像

○県および市の関連計画から、地域の将来像、道路整備に関する方針を整理。

地域の将来像

【産業】

- 九州の東の玄関口として、拠点化に向けた港湾整備を図るとともに、高規格道路の早期整備を進める <大分県>
- 高速道路ICへのアクセス道路等の整備を進め、物流効率化や産業の発展に寄与する <大分県>
- 本市と熊本市とを結び九州の循環型高速道路ネットワーク及び地域連携軸を形成するとともに、物流拠点等へのアクセス強化につながる中九州横断道路の整備に向けた取組を進める <大分市>
- 産業等の分野において高規格道路等の利用促進、及び連携した環境整備を図る <竹田市>

【防災】

- 交通ネットワーク基盤の強靱化に必要な社会インフラの整備や太平洋新国土軸構想の実現に向けた取り組みを推進する <大分県> <大分市>
- 高規格道路整備など、ダブルネットワーク整備などリダンダンシー確保によるネットワークの強靱化を推進する <大分市>

【暮らし】

- 渋滞や交通安全上の課題の多い箇所等の整備を進め、生活利便性の向上に寄与する <大分県>
- 竹田市、熊本市など、中九州の都市との連携軸を形成する中九州横断道路の整備を促進し、機能強化を図る <大分市>
- 市民生活の利便性を高めるため、主要幹線道路として地域交通ネットワークを形成する道路整備を促進する <豊後大野市>
- 中九州横断道路の利便性を活かした定住促進に努める <竹田市>

【医療】

- 単一の救急医療圏だけでは完結できない圏域もあることから、大分、別府などによる支援体制を設定する <大分県>
- 医療福祉等の分野において高規格道路等の利用促進、及び連携した環境整備を図る <竹田市>

【観光】

- 人や物の流れを活性化し、観光の基盤となる高速道路ネットワークの充実を図る <大分県>
- 観光地間を周遊するルート、観光地へのアクセス道路について整備を進める <大分県>
- 中九州横断道路の早期整備に向けた取組を進め、地域間連携の強化、観光等の波及効果による地域活性化を図る <大分市>
- 地域内や隣接市などとの交流や連携を活発化するため、主要幹線道路として地域交通ネットワークを形成する国道等の整備を促進する <豊後大野市>
- 観光振興等の分野において高規格道路等の利用促進、及び連携した環境整備を図る <竹田市>

4-2 . 政策目標(案)の設定

【産業】

【防災】

【暮らし】

【医療】

【観光】

地域・道路交通の現状と課題	道路による要因	政策目標(案)
①産業・物流 ○国道10号・57号は、港湾施設、工業団地・青果センター等への製造・物流拠点への輸送を担う主要路線。 ○大分港(大在地区) 等において「九州東の玄関口」としての拠点化整備が進むとともに、大分流通業務団地・野津東部工業用地における企業誘致や新たな工業団地の造成に関する検討が進んでいる。 ○大分臨海部～豊後大野・竹田・熊本方面の物流において、アクセス性、速達性、定時性の低下が発生。	○産業・物流拠点が集積する地域にアクセスする幹線道路が不十分。 ○熊本方面から大分市への幹線道路は、国道10号・57号のみで自専道ネットワークのミッシングリンク区間である。	①速達性・定時性・アクセス性の向上による産業活動の支援
②防災 ○国道10号・57号は南海トラフ地震津波発生時には、九州東進作戦の広域移動ルートとしての役割を有する。 ○国道10号・57号では、路面冠水等による通行止めが発生。 ○災害時でも救援・物資輸送を果たす信頼性の高いネットワークの構築が必要。	○南海トラフ地震津波発生時において、熊本方面から県南方面への広域移動ルートが脆弱。 ○現道は洪水浸水想定区域内に位置する。 ○熊本方面から大分市への幹線道路は国道10号・57号のみで代替路がない。	②災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築
③渋滞・事故 ○大分市中心部・臨海部～豊後大野・竹田・熊本方面間では、国道10号・57号が唯一の幹線道路。 ○国道10号は主要渋滞箇所が連続し、旅行速度の低下が発生。 ○当該区間の事故率は県内直轄国道平均に比べて高く、渋滞に起因すると想定される追突事故が多く発生。	○国道10号大分～犬飼間は、交差点が連坦し、交通の錯綜が著しい。 ○国道10号等では、生活交通と物流交通が混在。 ○渋滞、信号交差点等による急ブレーキ・追突事故が発生。	③速達性・定時性・安全性・走行性の確保による生活利便性の向上
④医療 ○豊後大野市・竹田市の医療機能は大分市に依存。 ○大分市内でも三次医療施設30分圏外の地域が存在。 ○救急搬送時の速達性、走行性の低下により、傷病者への影響が懸念。	○救急搬送・通院時の経路で渋滞が発生し、豊後大野市・竹田市・大分市南部から救急医療施設への速達性が低い。	④速達性・走行性の向上による医療活動の支援
⑤観光 ○阿蘇くじゅう観光圏や祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク等では、道路整備を活かして観光誘致の拡大に努めている。 ○大分・別府方面～豊後大野・竹田方面間を接続する幹線道路ネットワークが未形成で観光振興に支障。	○大分・別府方面から豊後大野・竹田方面間の自専道ネットワークがミッシングリンクとなっており、観光施設と高規格道路を結ぶ幹線道路ネットワークが脆弱。	⑤広域周遊道路ネットワークの確保による観光振興の支援

5. 意見聴取方法(案)

5-1. 意見聴取(案)の概要

○意見聴取は、評価指標等を用いて地域がより重視する政策目標や配慮事項に関して意見を伺い、ルート帯や対応方針(案)の検討の参考とする。

○アンケート設問の設定(抜粋)

<政策目標>

<アンケートにおける質問事項>

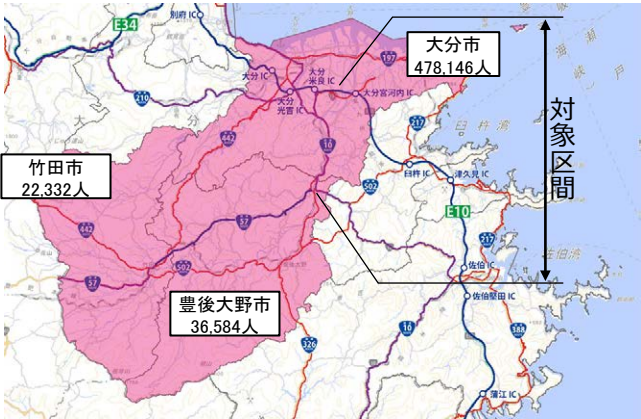
【産業】 ①速達性・定時性・アクセス性の向上による産業活動の支援	➡	問1：地域産業を支える広域・高速な道路ネットワークが不十分
【防災】 ②災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築	➡	問2：災害時の通行止めに不安を感じる
【暮らし】 ③速達性・定時性・安全性・走行性の確保による生活利便性の向上	➡	問3-1：朝夕の通勤時を中心に渋滞が発生し、道路に大型車が多いと感じる 問3-2：交通事故が多い区間だと感じる
【医療】 ④速達性・走行性の向上による医療活動の支援	➡	問4：病院までの円滑な移動について不安を感じる
【観光】 ⑤広域周遊道路ネットワークの確保による観光振興の支援	➡	問5：主要な観光地間のアクセス性が悪い

5-1. 意見聴取の方法について

○意見聴取は、沿道自治体へのヒアリング、団体および企業、沿道住民へのアンケートに加え、オープンハウス、留置きを実施予定。

意見聴取の対象

- ※1 ヒアリングは、自治体および企業等へ対面方式等での意見聴取。
- ※2 オープンハウスは、各自治体市役所等での説明。アンケート票による意見聴取。オープンハウスの周知は市報などで広報。
- ※3 アンケートは、地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取。
- ※4 WEBでのアンケート回答も可能とする。



▲地域住民意見聴取範囲

対象者		
ヒアリング ※1、※4	【沿道自治体】大分県・大分市・豊後大野市・竹田市・各団体などへの意見聴取	
	沿道自治体：大分県・大分市・豊後大野市・竹田市	4自治体
	各団体等：トラック協会、バス協会、消防本部、農業協同組合、漁業協同組合、警察署、観光協会、商工会議所、医療機関、医師会 等	20団体程度
	【団体・企業等】大分市・豊後大野市・竹田市などの関係企業への意見聴取	
	各企業：製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉 等	主要100社程度
オープンハウス (ヒアリング) ※2	【地域住民】沿道の大分市・豊後大野市・竹田市の市役所・支所等にオープンハウスを設置	
	大分市：大分市役所本庁舎、大分市役所大南支所、パークプレイス大分 豊後大野市：豊後大野市役所 竹田市：竹田市役所	5箇所程度
アンケート ※3、※4	【地域住民】沿道の大分市・豊後大野市・竹田市の地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取	
	大分市（人口：478, 146人、世帯数：203, 515世帯）	約6, 300部（抽出）
	豊後大野市（人口： 36, 584人、世帯数： 14, 326世帯）	約600部（抽出）
	竹田市（人口： 22, 332人、世帯数： 9, 100世帯）	約400部（抽出）
留置き	【道路利用者等】道の駅等にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを設置し意見聴取	
	豊後大野市：道の駅「あさじ」、道の駅「原尻の滝」、道の駅「おおの」、道の駅「みえ」等 竹田市：道の駅「すごう」等	5箇所程度

■調査の趣旨、調査対象箇所、計画段階評価の流れについて説明

中九州横断道路(大分～犬飼)の道路計画に関する
第1回アンケートにご協力をお願いいたします

中九州横断道路は大分市を起点として豊後大野市・竹田市などを經由し熊本市に至る延長約120kmの道路です。

本調査は、中九州横断道路のうち大分～犬飼間における道路整備の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様が日頃から感じている「道路交通や地域の課題」等についてご意見を頂くことを目的としています。

皆様のご協力をお願いいたします。

■アンケート対象者

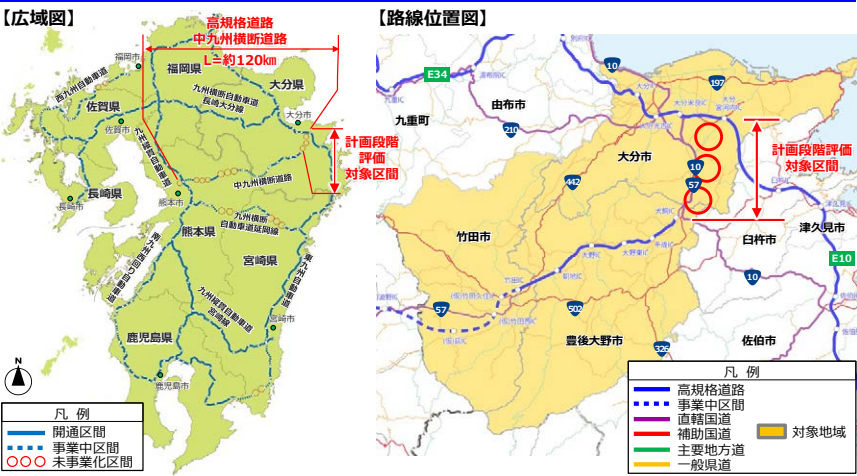
- 本アンケートは、大分市・豊後大野市・竹田市にお住まいの方から無作為に抽出し配布しています。
- 本アンケートは、配布させて頂いた世帯のご家族の方を対象と考えております。お手数とは思いますが、アンケート回答へのご協力をお願いいたします。
 - 幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい為、ご家族皆様へのご協力をお願いしたく、「**アンケート回答用 返信はがき**」を4枚同封させて頂いております。
 - (対象は18歳以上としております。ご家族構成にあわせて必要枚数をご利用下さい。)
 - なお、ご協力頂けるにも関わらず、アンケート回答用返信はがきが不足している場合は、お手数ですが、1ページの問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

■回答の提出方法及び締切

- 回答は、次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。
- 【方法1】同封しています「返信はがき」にご記入頂き、
令和●年●月●日(●)までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いいたします。
- 【方法2】インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、
令和●年●月●日(●)までに、回答してください。
- A 右記URLをアドレスバーに入力

B QRコードからアクセス QRコードはこちら 

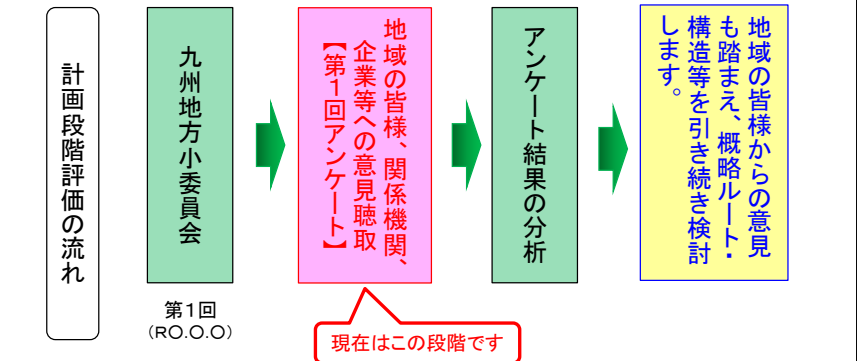
中九州横断道路(大分～犬飼)位置図



■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針について地域の声(地域の皆様、道路利用者、関係団体等)を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



■九州地方小委員会

九州地方小委員会は、公共事業の効率性や透明性の一層の向上を図るため、学識経験者など第三者から構成される委員会です。

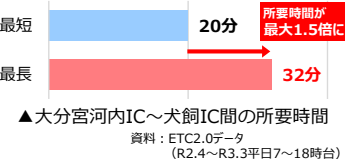
なお、会議資料は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

地域・道路交通の状況と課題

【①産業】

広域・高速な道路ネットワークが不十分で、
拠点へのアクセス性・経済(企業)活動に影響

- 国道10号・57号は、地域の基幹産業を支える重要な路線です。
- 大分港(大分地区)では「九州の東の玄関口」としての拠点化に向けた港湾整備も進んでいます。
- 大分臨海部～豊後大野・竹田・熊本方面を結ぶ自動車専用道路ネットワークが未形成で、製造・物流拠点へのアクセス性の低下や定時性の低下が発生しています。



▲国道57号沿道の製造・物流拠点立地状況等

【②防災】

災害で通行止めが発生

- 国道10号・57号では、これまでに路面冠水等による通行止めが発生しており、平成30年には約3日間の全面通行止めとなりました。
- 日常生活や物流交通に影響があるほか、南海トラフ地震津波発生時の熊本方面からの救援・救助への支障も懸念されます。



▲台風による国道10号の冠水被害(上戸次付近)

【③暮らし】

朝夕を中心に渋滞が発生

- 国道10号・57号は、豊後大野・竹田方面から臨海部等への物流交通と通勤・買い物等の生活交通が混在しています。
- 交差点も連続しており、渋滞が発生しています。

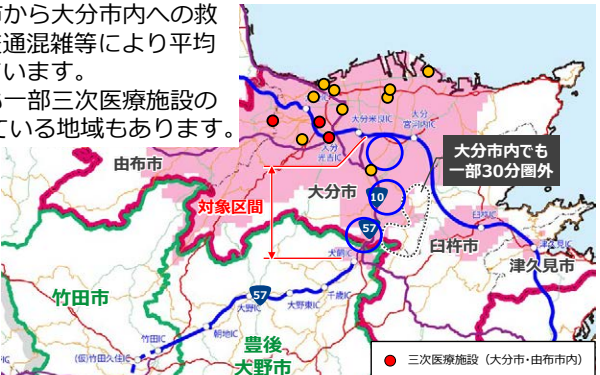
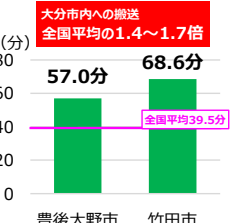


▲国道10号中村交差点の渋滞状況

【④医療】

渋滞等により病院までの移動に時間がかかる

- 豊後大野市や竹田市から大分市内への救急搬送において、交通混雑等により平均より時間がかかっています。
- また、大分市内でも一部三次医療施設の30分圏域から外れている地域もあります。



▲大分市への救急搬送時の病院収容までの平均時間※

▲医療施設立地状況および三次医療施設30分圏

【⑤観光】

観光地間のアクセス性が悪く
観光振興に影響

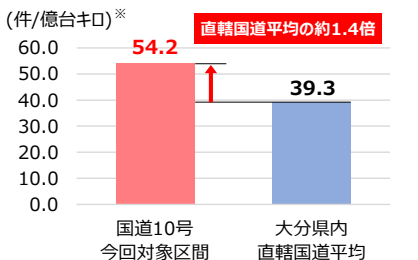
- 国道10号・57号沿道等には、ジオパーク等の豊富な観光資源が立地していますが、高規格道路が未形成のため、豊後大野市、竹田市等の観光振興の支障となっています。

県内で比較的下位に位置		
1位	別府市	32.7%
2位	大分市	30.2%
3位	由布市	16.4%
...	...	...
10位	竹田市	5.1%
...	...	...
16位	豊後大野市	2.7%
...	...	...

▲大分県来訪者の立ち寄り率・県内順位

交通事故の発生割合が高い

- 事故の発生割合は、県内の直轄国道平均の約1.4倍と高い状況です。



▲事故の発生割合の比較

【 アンケートにお答えください 回答は返信はがきにご記入ください 】

下記を参考に、同封の返信用はがきへ必要事項を記入し、郵便ポストに投函をお願いいたします。

- ・ **あなたご自身**のことに 関する設問は、記入または該当する番号に○をつけてください。
- ・ **単一回答**の設問は、あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。
- ・ **5段階評価**の設問は、各課題の該当する箇所に**1つだけ**○をつけてください。
- ・ **自由回答**の設問は、具体的な内容を回答してください。

国道10号・57号(大分～豊後大野)の現状について、地域にお住いの皆様のご意見を広く伺うことを目的としています。そのため、このはがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。
回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

あなたご自身の事について教えてください

住所 **1** 大分市 2. 豊後大野市 3. 竹田市
4 その他 ()

性別 **1** 男性 2. 女性
年齢 **2** 10代 3. 20代 4. 30代
5. 40代 6. 50代 7. 60代
7. 70代以上

問1 国道10号・57号の利用頻度について

普段、大分市～豊後大野市の国道10号・57号をどの程度利用していますか？ (単一回答)

1	ほぼ毎日 (週4～7回)
2	週に数回程度 (週2～3回)
3	月に数回程度 (週1回未満)
4	ほとんど利用しない
5	利用したことがない

問4-1へ

問2 国道10号・57号の移動手段について

大分市～豊後大野市の国道10号・57号を通行する際の、主な移動手段は何ですか？ (単一回答)

1	自動車
2	公共交通 (バス、タクシー)
3	バイク
4	自転車
5	徒歩

問3 国道10号・57号の利用目的について

大分市～豊後大野市の国道10号・57号を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？ (単一回答)

1	通勤・通学
2	仕事 (営業・商談・運送など)
3	私用 (買物・食事・通院など)
4	その他 [具体的な内容を記入してください]

問4-1 国道10号・57号(大分市～豊後大野市)の課題について

国道10号・57号(大分市～豊後大野市)について、5つの課題(6項目)を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)のそれぞれ該当する箇所に1つだけ○をつけてください。 (5段階評価)

分類	番号	課題	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
産業	①	地域産業を支える広域・高速な道路ネットワークが不十分	1				
防災	②	災害時の通行止めに不安を感じる		1			
暮らし	③-1	朝夕の通勤時を中心に渋滞が発生し、道路に大型車が多いと感じる			1		
	③-2	交通事故が多い区間だと感じる		1			
医療	④	病院までの円滑な移動について不安を感じる				1	
観光	⑤	主要な観光地間のアクセシビリティが悪い		1			

問4-2 国道10号・57号(大分市～豊後大野市)の課題について(理由)

「問4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。 (自由回答)

番号	理由
①	(記入例) ●●時によく利用するが、いつも渋滞しているから。
②	
③-1	
③-2	
④	
⑤	

問4-3 国道10号・57号(大分市～豊後大野市)の課題について(その他課題)

「問4-1」に示した課題以外で、あなたが問題だと思う事があれば具体的に書きください。 (自由回答)

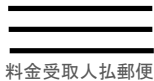
(記入例) 日常的に●●で困ることがあるので、●●することが必要ではないかと思う。

問5 その他について

その他ご意見がありましたらお聞かせください。 (自由回答)

ご協力ありがとうございました。

(表 面)



郵便はがき

8 7 0 0 8 2 0



大分県大分市西大道1丁目1番71号

国土交通省九州地方整備局

大分河川国道事務所

中九州横断道路(大分～犬飼)
計画段階評価 事務局 行

差出有効期限
令和●年●月
●日まで
(切手不要)



下記にチェックおよびご記入をお願いいたします。

◆あなたご自身の事について【記入または該当する番号と箇所に○をつけてください】

住所	1. 大分市	2. 豊後大野市	3. 竹田市	4. その他()			
性別	1. 男性	2. 女性	年齢	1. 10代 5. 50代	2. 20代 6. 60代	3. 30代 7. 70代以上	4. 40代

問1 普段、大分市～豊後大野市の国道10号・57号をどの程度利用していますか？ (単一回答)
1. ほぼ毎日(週4～7回) 2. 週に数回程度(週2～3回) 3. 月に数回程度(週1回未満) 4. ほとんど利用しない 5. 利用したことがない
問2 大分市～豊後大野市の国道10号・57号を通行する際の、主な移動手段は何ですか？ (単一回答)
1. 自動車 2. 公共交通(バス、タクシー) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩
問3 大分市～豊後大野市の国道10号・57号を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？ (単一回答)
1. 通勤・通学 2. 仕事(営業・商談・運送など) 3. 私用(買物・食事・通院など) 4. その他 []

※個人情報同意なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

(裏 面)

医療	④	病院までの円滑な移動について不安を感じる					
観光	⑤	主要な観光地間のアクセス性が悪い					
問4-2 「問4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。 (自由回答)							
番号	理由						
①							
②							
③-1							
③-2							
④							
⑤							
問4-3 「問4-1」に示した課題以外で、あなたが問題だと思う事があれば具体的に お書きください(自由回答)							
5 その他ご意見がありましたらお聞かせください。(自由回答)							